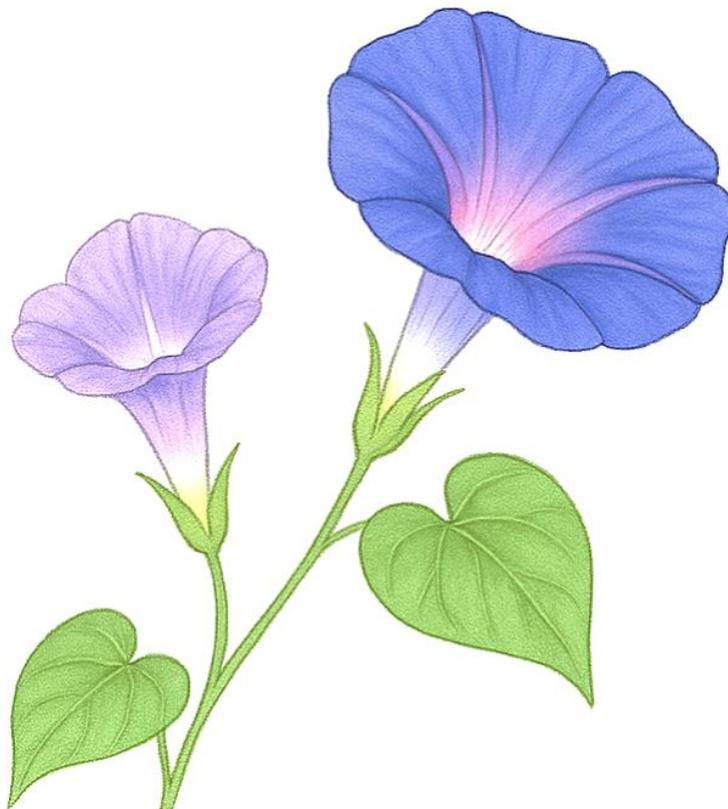


令和7年度

全国学力・学習状況調査結果について



令和7年7月

山口県教育庁義務教育課

# 目 次

1	調査の概要	—————	P	1
2	教科に関する結果	—————	P	2
	(1) 全体の結果	.....	P	2
	(2) 各教科の結果			
	① 本県と全国の平均正答率、平均正答率の比較	.....	P	2
	② 領域別平均正答率	.....	P	4
	③ 正答数分布	.....	P	6
	④ 設問別正答率	.....	P	9
	(3) 具体的な問題と解答状況			
	① 小学校国語	.....	P	15
	② 小学校算数	.....	P	17
	③ 小学校理科	.....	P	19
	④ 中学校国語	.....	P	21
	⑤ 中学校数学	.....	P	23
	⑥ 中学校理科	.....	P	25
3	質問調査の結果	—————	P	27
	(1) 児童生徒質問	.....	P	27
	(2) 学校質問	.....	P	36
4	学力向上に向けた今後の取組	—————	P	48

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### (2) 調査実施日 令和7年4月17日(木)

※中学校理科の実施日：令和7年4月14日(月)～4月17日(木)のうち1日

### (3) 調査の方法 悉皆調査

### (4) 調査を実施した学校数・児童生徒数

学 年	学 校 数	児 童 生 徒 数
小学校第6学年	公立小学校 253校	児 童 9,754人
	特別支援学校 2校	
	計 255校	
中学校第3学年	公立中学校 139校	生 徒 9,789人
	中等教育学校 1校	
	特別支援学校 3校	
	計 143校	

### (5) 調査内容

#### ① 教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)

※ 中学校理科は、MEXCBTによるオンライン方式で実施  
・調査問題では、下記1)と2)を一体的に問う。

- 1) 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- 2) 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

#### ② 質問調査

ア 児童生徒に対する調査(児童生徒質問)

【小学校…71項目 中学校…72項目】

イ 学校に対する調査(学校質問)

【小学校…84項目 中学校…84項目】

## 2 教科に関する結果

### (1) 全体の結果

- 小学校では、国語及び理科は全国平均を上回り、算数は全国平均と同程度であった。  
○中学校では、国語は全国平均を上回り、数学及び理科は全国平均と同程度であった。

### (2) 各教科の結果

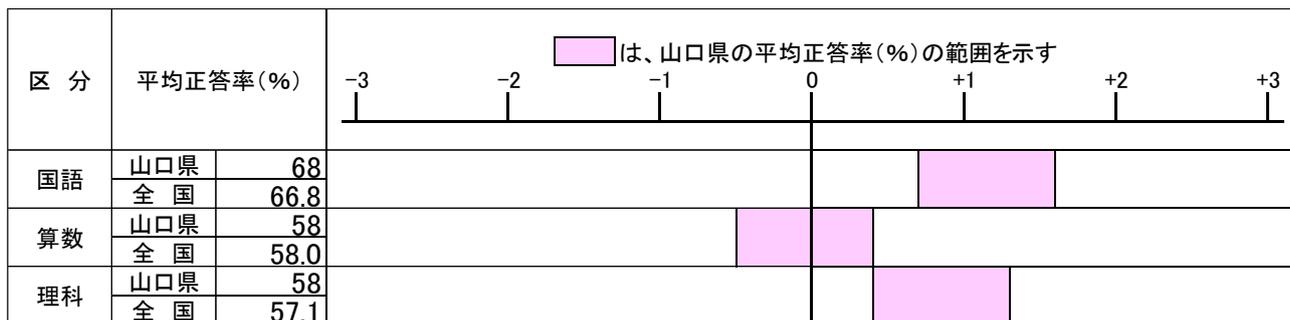
#### ① 本県と全国の前平均正答数、前平均正答率の比較

※ 平成 29 年度から、都道府県等における各教科の前平均正答率は整数値で提供されているため、全国平均との差を範囲で示している。

※ 数値はいずれも、公立学校についての集計値

#### 【小学校】

	前平均正答数／設問数		前平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国 語	9.5／14	9.4／14	68	66.8
算 数	9.3／16	9.3／16	58	58.0
理 科	9.9／17	9.7／17	58	57.1

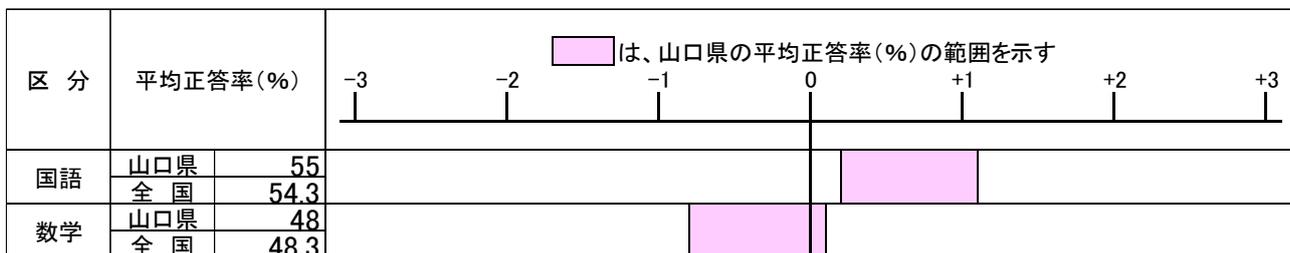


#### 【中学校】

	前平均正答数／設問数		前平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国 語	7.7／14	7.6／14	55	54.3
数 学	7.1／15	7.2／15	48	48.3
理 科	2.9／6 *1	2.9／6 *1	503 *2	503 *2

\*1 生徒全員が対象となった公開問題 6 間について記載

\*2 前平均 I R T スコアを記載



〔参考〕過去の調査での平均正答数と平均正答率

○令和6年度

小学校	平均正答数／設問数		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国 語	9.6／14	9.5／14	68	67.7
算 数	10.2／16	10.1／16	64	63.4

中学校	平均正答数／設問数		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国 語	8.7／15	8.7／15	58	58.1
数 学	8.4／16	8.4／16	52	52.5

○令和5年度

小学校	平均正答数／設問数		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国 語	9.4／14	9.4／14	67	67.2
算 数	9.8／16	10.0／16	61	62.5

中学校	平均正答数／設問数		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国 語	10.5／15	10.5／15	70	69.8
数 学	7.7／15	7.6／15	52	51.0
英 語	7.4／17	7.7／17	44	45.6

○令和4年度

小学校	平均正答数／設問数		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国 語	9.1／14	9.2／14	65	65.6
算 数	10.0／16	10.1／16	63	63.2
理 科	10.9／17	10.8／17	64	63.3

中学校	平均正答数／設問数		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国 語	9.8／14	9.7／14	70	69.0
数 学	7.2／16	7.2／16	52	51.4
理 科	10.4／21	10.4／21	49	49.3

## ② 領域別平均正答率

〔レーダーチャートについて〕

領域別平均正答率について、山口県と全国との差を示している。

( ——— 山口県    - - - - - 全国 )

〔表記について〕

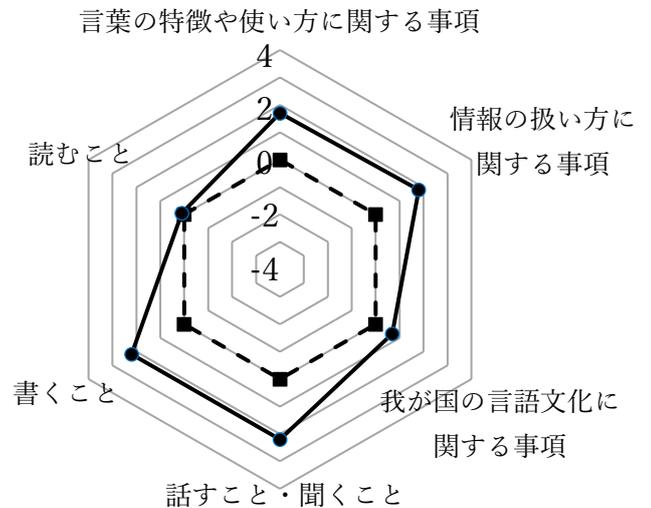
○…全国平均を上回った領域

●…全国平均を下回った領域

### 【小学校 国語】

○ 全ての領域において、全国平均を上回った。

	問題数	平均正答率(%)		全国との差
		山口県	全国	
全体	14	山口県	全国	
言葉の特徴や使い方に関する事項	2	78.6	76.9	1.7
情報の扱い方に関する事項	1	64.9	63.1	1.8
我が国の言語文化に関する事項	1	81.9	81.2	0.7
話すこと・聞くこと	3	68.5	66.3	2.2
書くこと	3	71.7	69.5	2.2
読むこと	4	57.6	57.5	0.1

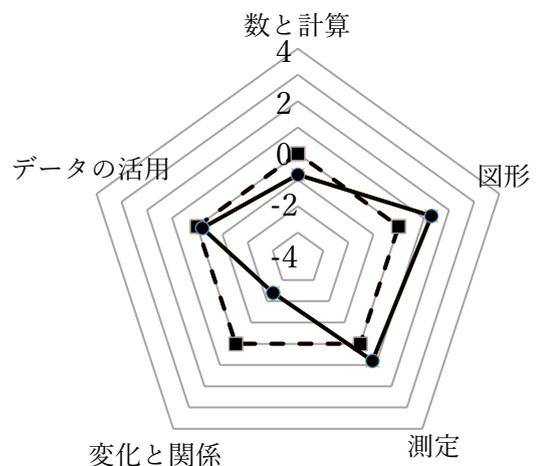


### 【小学校 算数】

○ 「図形」「測定」については全国平均を上回った。

● 「数と計算」「変化と関係」「データの活用」については全国平均を下回った。

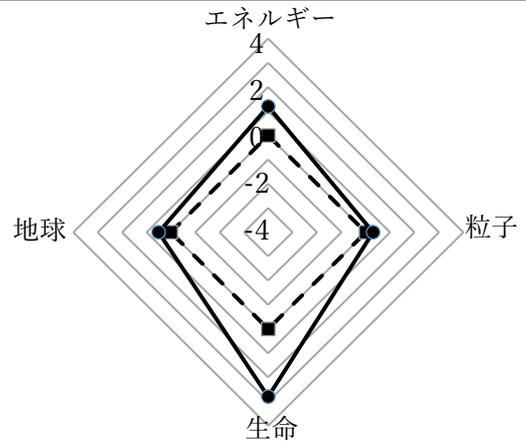
	問題数	平均正答率(%)		全国との差
		山口県	全国	
全体	16	山口県	全国	
数と計算	8	61.5	62.3	-0.8
図形	4	57.5	56.2	1.3
測定	2	55.6	54.8	0.8
変化と関係	3	55.1	57.5	-2.4
データの活用	5	62.4	62.6	-0.2



### 【小学校 理科】

○ 全ての領域において、全国平均を上回った。

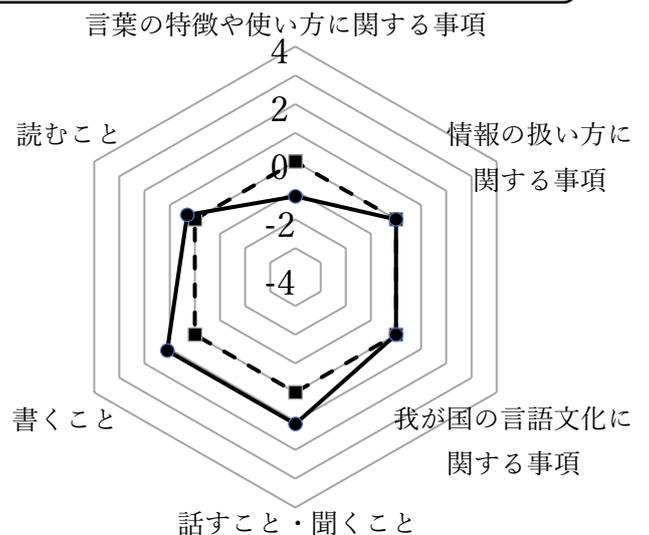
	問題数	平均正答率(%)		全国との差
		山口県	全国	
全体	17			
エネルギー	4	47.9	46.7	1.2
粒子	6	51.7	51.4	0.3
生命	4	54.8	52.0	2.8
地球	6	67.2	66.7	0.5



### 【中学校 国語】

○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」については全国平均を上回った。  
 ● 「言葉の特徴や使いに関する事項」については全国平均を下回った。

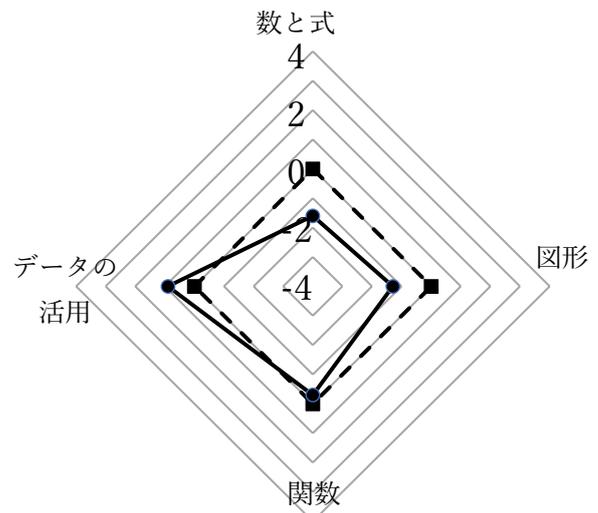
	問題数	平均正答率(%)		全国との差
		山口県	全国	
全体	14			
言葉の特徴や使いに関する事項	2	46.9	48.1	-1.2
情報の扱いに関する事項	0	-	-	-
我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
話すこと・聞くこと	4	54.3	53.2	1.1
書くこと	5	53.9	52.8	1.1
読むこと	3	62.6	62.3	0.3



### 【中学校 数学】

○ 「データの活用」については、全国平均を上回った。  
 ● 「数と式」「図形」「関数」については、全国平均を下回った。

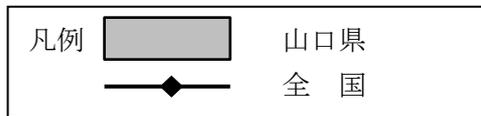
	問題数	平均正答率(%)		全国との差
		山口県	全国	
全体	15			
数と式	5	41.9	43.5	-1.6
図形	4	45.2	46.5	-1.3
関数	3	47.9	48.2	-0.3
データの活用	3	59.5	58.6	0.9



### ③ 正答数分布（全国平均正答数と比べたときの山口県の児童生徒の状況）

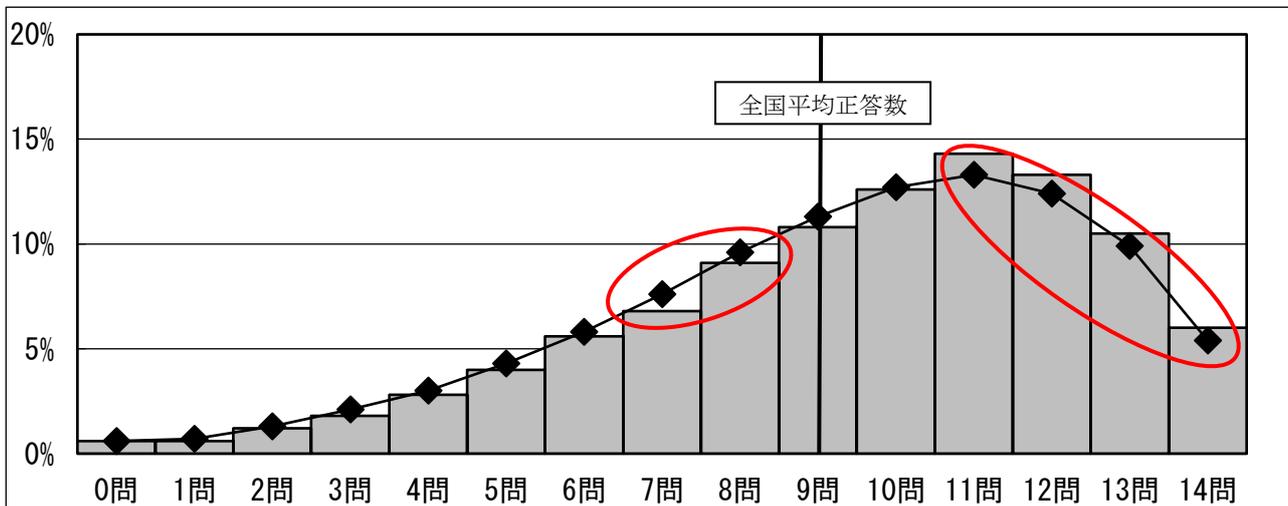
〔グラフについて〕

横軸は児童生徒が正答した問題数、縦軸は正答数ごとの児童生徒の割合（％）を示している。



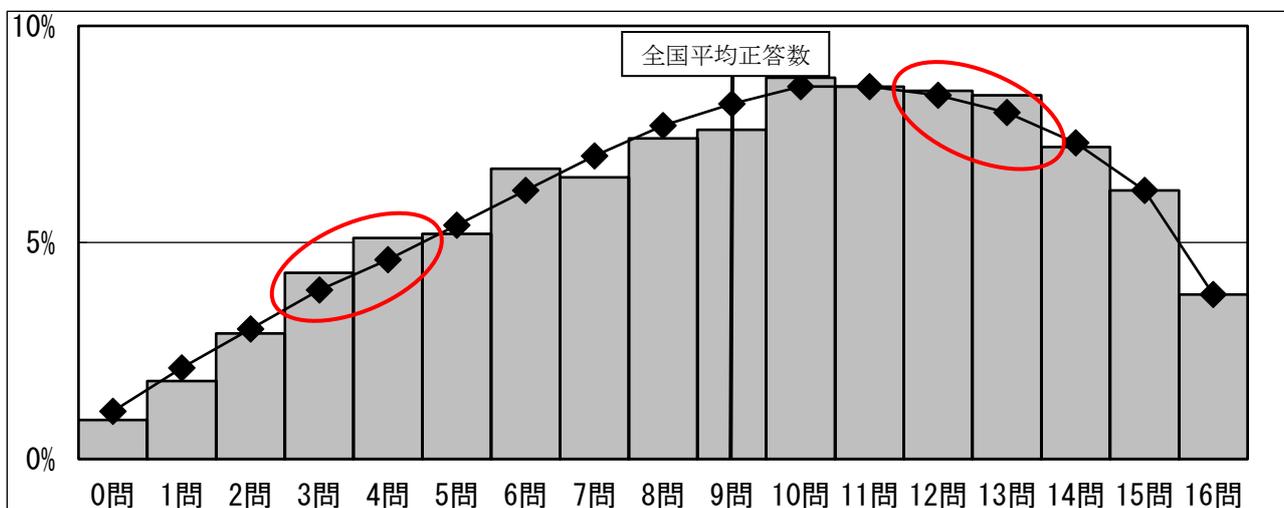
#### 【小学校 国語】（平均正答率 山口県 68%、全国 66.8%）

- ・全国と比べ、7～8問の児童の割合が低い。
- ・全国と比べ、正答数が11～14問の児童の割合が高い。



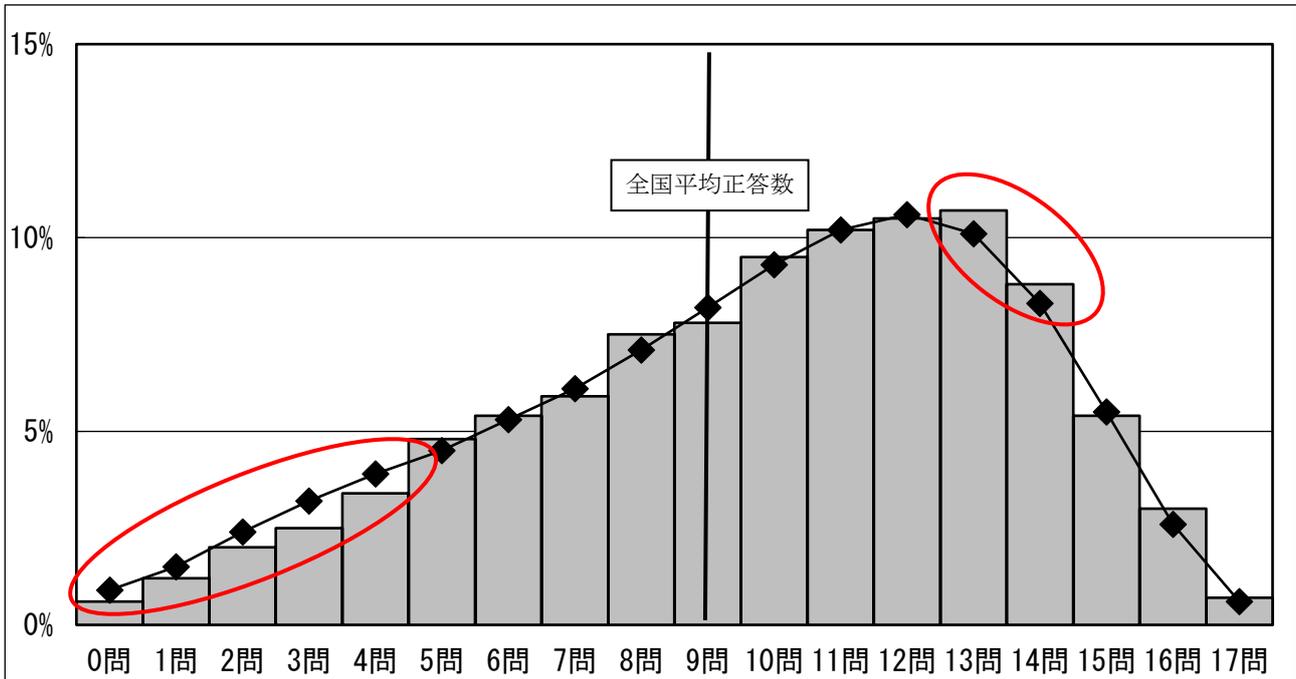
#### 【小学校 算数】（平均正答率 山口県 58%、全国 58.0%）

- ・全国と比べ、正答数が3～4問の児童の割合が高い。
- ・全国と比べ、正答数が12～13問の児童の割合が高い。



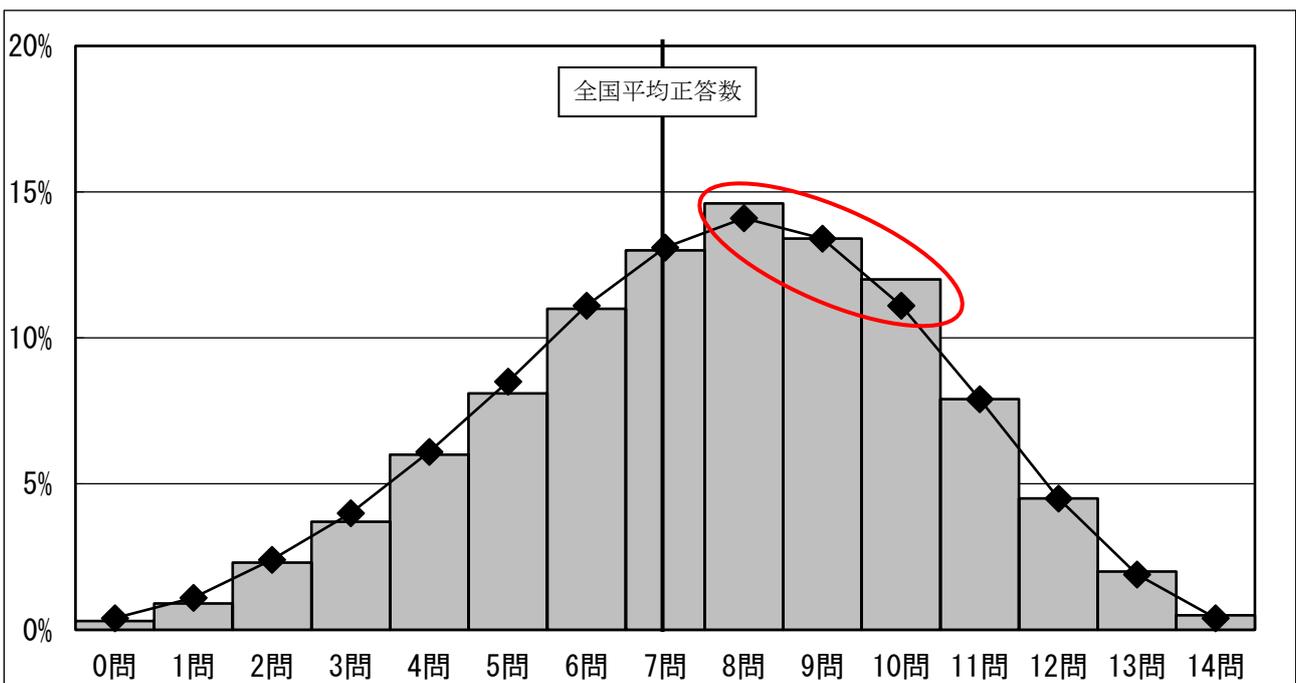
【小学校 理科】（平均正答率 山口県 58%、全国 57.1%）

- ・全国と比べ、正答数が0～4問の児童の割合が低い。
- ・全国と比べ、正答数が13～14問の児童の割合が高い。



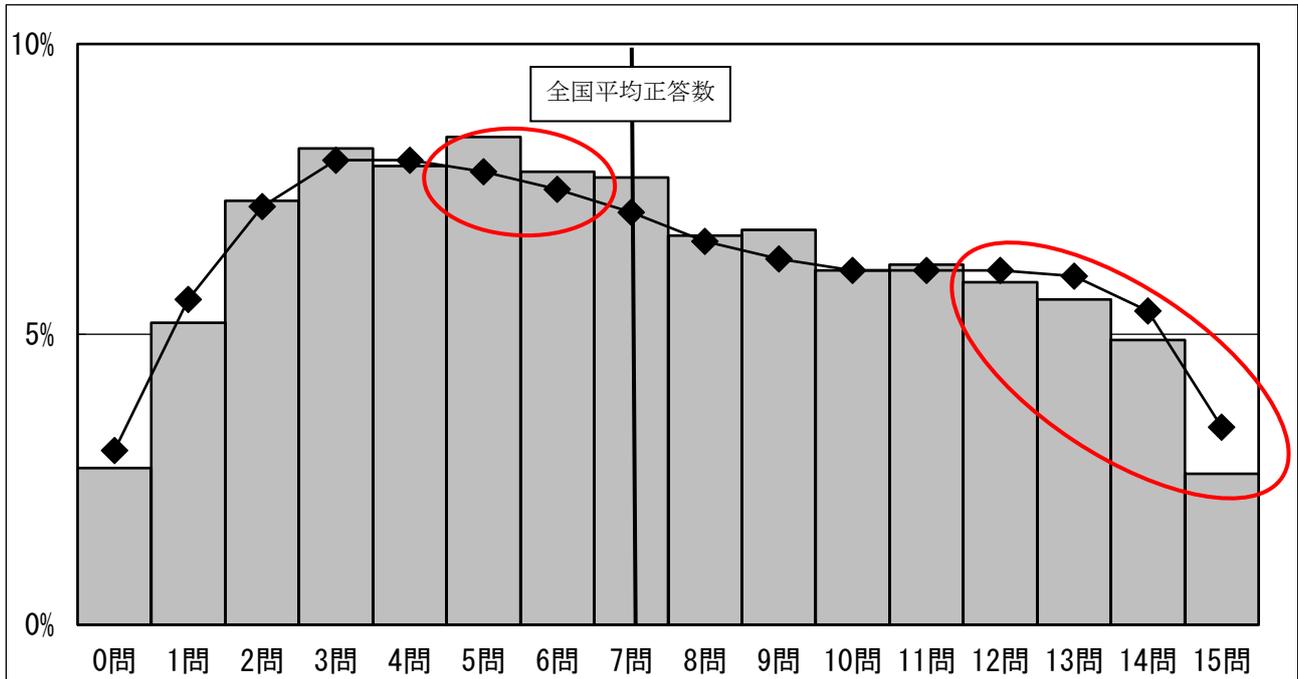
【中学校 国語】（平均正答率 山口県 55%、全国 54.3%）

- ・全国と比べ、正答数が8～10問の生徒の割合が高い。



【中学校 数学】(平均正答率 山口県 48%、全国 48.3%)

- ・全国と比べ、正答数が5～6問の生徒の割合が高い。
- ・全国と比べ、正答数が12～15問の生徒の割合が低い。

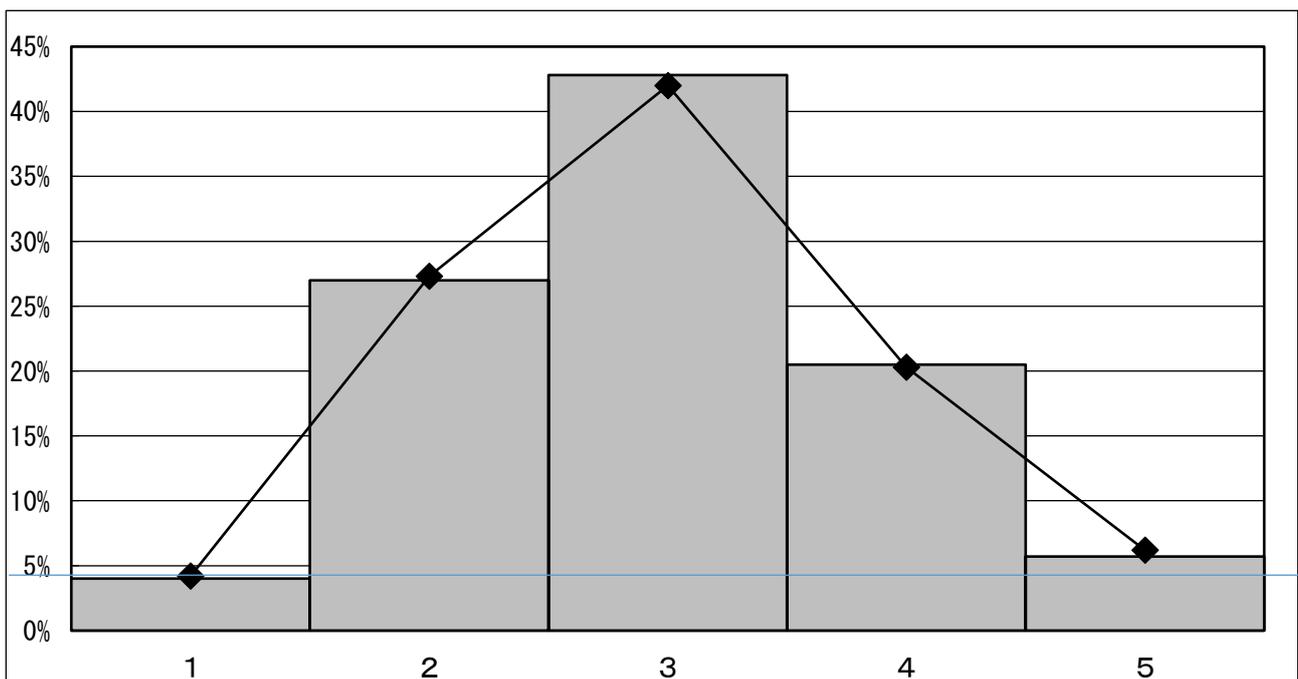


<参考>

【中学校 理科】(平均IRTスコア 山口県 503、全国 503)

- ・IRTバンドは、全国と同様の分布状況である。

IRTバンド分布グラフ (横軸：IRTバンド 縦軸：割合)



④ 設問別正答率

小学校 国語

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)					
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等					山口県(公立)	全国(公立)	山口県(公立)	全国(公立)				
			(1)	(2)	(3)	A	B	C										
			(1)	(2)	(3)	A	B	C	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式				
			言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文化に 関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと										
1一	【話し合いの様子】における小森さんの傍線部の発言を説明したものとして適切なものを選択する	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる				5・6ア				○	○				55.4	53.3	0.7	0.5
1二	【話し合いの記録】の書き表し方を説明したものとして適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる		5・6イ						○	○				64.9	63.1	0.6	0.5
1三(1)	【インタビューの様子の一部】で小森さんが傍線部アのように発言した目的として適切なものを選択する	自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるかどうかをみる				5・6エ				○	○				75.3	71.8	0.6	0.6
1三(2)	【インタビューの様子の一部】で小森さんが傍線部イのように発言した理由として適切なものを選択する	話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる				5・6エ				○	○				74.7	73.7	0.7	0.6
2一	【ちらし】の文章の構成の工夫を説明したものとして適切なものを選択する	書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができるかどうかをみる					3・4イ			○	○				66.7	65.5	1.0	0.8
2二	山田さんが手ぬぐいの模様について言葉と図で説明した理由として適切なものを選択する	図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる					5・6エ			○	○				82.6	81.8	1.0	0.8
2三	【ちらし】の二重傍線部を、【調べたこと】を基に詳しく書く	目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる					5・6ウ			○		○			65.8	61.3	4.1	5.0
2四ア	【ちらし】の下線部アを、漢字を使って書き直す(このみ)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる		5・6エ						○		○			82.1	81.6	6.1	7.2
2四イ	【ちらし】の下線部イを、漢字を使って書き直す(あつ日)			5・6エ						○		○			75.0	72.1	3.2	4.3
3一	【資料1】を読んで思い出した【木村さんの経験】を通して、木村さんが気付いたこととして適切なものを選択する	時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができるかどうかをみる			5・6ウ					○	○				81.9	81.2	1.4	1.3
3二(1)	【木村さんのメモ】の空欄アに入る適切な言葉を【資料2】の中から書き抜く	時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができるかどうかをみる						1・2ア		○	○				81.4	81.6	2.6	2.9
3二(2)	【資料3】を読み、【木村さんのメモ】の空欄イに当てはまる内容として適切なものを選択する	事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかをみる						5・6ア		○	○				51.7	51.3	2.5	2.4
3三(1)	【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる						5・6ウ		○	○				39.1	40.8	3.2	3.4
3三(2)	【資料1】を読み返して言葉の変化について自分が納得したことを、【資料2】、【資料3】、【資料4】に書かれていることを理由にしてまとめて書く	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる						5・6ウ		○		○			58.3	56.3	15.1	16.2

小学校 算数

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	山口県(公立)	全国(公立)	山口県(公立)	全国(公立)
1(1)	2022年の全国のブロックリーの出荷量が2002年の全国のブロックリーの出荷量の約何倍かを、棒グラフから読み取って選ぶ	棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができるかどうかをみる	3(4) ア(ア)				3(1) ア(イ)	○			○			76.1	78.7	0.3	0.4
1(2)	都道府県Aのブロックリーの出荷量が増えたかどうかを調べるために、適切なグラフを選び、出荷量の増減を判断し、そのわけを書く	目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる					3(1) ア(イ) 5(1) ア(ア) イ(ア)	○			○	○		35.8	31.0	0.7	0.9
1(3)	示された表から、「春だいこん」や「秋冬だいこん」より「夏だいこん」の出荷量が多い都道府県を選ぶ	簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができるかどうかをみる					3(1) ア(ア)	○			○			71.3	71.6	2.7	3.5
1(4)	示された資料から、必要な情報を選び、ピーマン1個とブロックリー4個の重さを求める式と答えを書く	示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することができるかどうかをみる	4(6) ア(ア) イ(ア)					○			○			75.2	74.5	1.9	2.6
2(1)	示された平行四辺形をかくために、コンパスの開く長さを書き、コンパスの針を刺す場所を選ぶ	平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができるかどうかをみる		4(1) ア(イ)				○			○			60.0	58.3	0.9	1.2
2(2)	方眼上の五つの図形の中から、台形を選ぶ	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる		4(1) ア(イ)				○			○			51.8	50.2	0.6	0.7
2(3)	角をつくる二つの辺をそれぞれのばした図形の角の大きさについてわかることを選ぶ	角の大きさについて理解しているかどうかをみる		4(5) ア(ア)				○			○			79.5	79.3	1.1	1.0
2(4)	五角形の面積を求めるために五角形を二つの図形に分割し、それぞれの図形の面積の求め方を書く	基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる		5(3) ア(ア) ※				○			○			38.8	37.0	2.2	2.7
3(1)	0.4+0.05について、整数の加法で考えるとき共通する単位を書く	小数の加法について、数の相対的な大きさをを用いて、共通する単位を捉えることができるかどうかをみる	4(4) ア(イ) ア(ウ)					○			○			70.3	74.1	2.4	2.8
3(2)	3/4+2/3について、共通する単位分数と、3/4と2/3が、共通する単位分数の幾つ分になるかを書く	分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	5(5) ア(ア) イ(ア)					○			○			21.6	23.0	16.0	15.7
3(3)	数直線上に示された数を分数で書く	数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができるかどうかをみる	3(6) ア(ア) ア(イ)					○			○			36.6	35.0	7.2	7.8
3(4)	1/2+1/3を計算する	異分母の分数の加法の計算をすることができるかどうかをみる	5(5) ア(ア)					○			○			83.0	81.3	3.5	4.1
4(1)	新品のハンドソープが空になるまでに何プッシュすることができるのかを調べるために、必要な事柄を選ぶ	伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができるかどうかをみる	3(4) ア(ア)			4(1) イ(ア)	5(2) ア(ア)	○			○			81.3	82.8	2.6	2.6
4(2)	使いかけのハンドソープがあと何プッシュすることができるのかを調べるために、必要な事柄を判断し、求め方を書く	伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	3(4) ア(ア)		3(1) ア(ア)	4(1) イ(ア)	5(2) ア(ア)	○			○			47.5	48.7	3.7	3.4
4(3)	はかりが示された場で、はかりの目盛りを読む	はかりの目盛りを読むことができるかどうかをみる			3(1) ア(イ)			○			○			63.7	60.9	4.9	4.2
4(4)	10%増量したつめかえ用のハンドソープの容量が、増量前の何倍かを選ぶ	「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができるかどうかをみる				5(3) イ(ア)		○			○			36.5	40.9	5.2	4.1

小学校 理科

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の区分・領域		評価の観点	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)		
			A区分	B区分			山口県(公立)	全国(公立)	山口県(公立)	全国(公立)	
			「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域							「生命」を柱とする領域
1(1)	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み時間の違いを調べる実験の条件について、コップAの土の量と水の量から、コップBの条件を書く	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる			4B(3) ア(4) ※	○	○	80.8	79.5	1.7	2.5
1(2)	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いをまとめたわけについて、結果を用いて書く	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現することができるかどうかをみる			4B(3) ア(4) ※	○	○	62.1	60.5	7.0	8.5
1(3)	【結果】や【問題に対するまとめ】から、中ぐらいの粒の赤玉土に水がしみ込む時間を予想し、予想した理由とともに選ぶ	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、【結果】や【問題に対するまとめ】を基に、他の条件での結果を予想して、表現することができるかどうかをみる			4B(3) ア(4) ※	○	○	78.5	77.8	0.7	0.9
2(1)	アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ	身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる	3A(5) ア(4)	3A(4) ア(7)		○	○	10.7	10.6	0.4	0.6
2(2)	電気を通す物と通さない物でできた人形について、人形Aの剣を人形Bに当てたときだけ、ベルが鳴る回路を選ぶ	電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる	3A(5) ア(7) ※			○	○	43.8	42.9	0.5	0.6
2(3)	ベルをたく装置の電磁石について、電流がつくる磁力を強めるため、コイルの巻数の変え方を書く	電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いているかどうかをみる	5A(3) ア(4)			○	○	80.8	78.0	1.8	2.7
2(4)	乾電池2個のつなぎ方について、直列につなぎ、電磁石を強くできるものを選ぶ	乾電池のつなぎ方について、直列につなぎに関する知識が身に付いているかどうかをみる	4A(3) ア(7)			○	○	56.4	55.1	0.6	0.8
3(1)	ヘチマの花のおしべとめしべについて選び、受粉について書く	ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いているかどうかをみる			5B(1) ア(2)	○	○	76.1	70.7	0.8	1.5
3(2)	ヘチマの花粉を顕微鏡で観察するとき、適切な像にするための顕微鏡の操作を選ぶ	顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いているかどうかをみる			5B(1) ア	○	○	48.1	45.6	0.6	0.8
3(3)	ヘチマの種子が発芽する条件を調べる実験において、条件を制御した解決の方法を選ぶ	発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる			5B(1) ア(4) ※	○	○	65.1	62.0	1.3	1.7
3(4)	レタスの種子の発芽の結果から、てるみさんの気づきを基に、見いだした問題について書く	レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができるかどうかをみる			5B(1) イ	○	○	29.8	29.9	8.8	11.4
4(1)	水の温まり方について、問題に対するまとめをいうために、調べる必要があることについて書く	水の温まり方について、問題に対するまとめを導きだす際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現することができるかどうかをみる	4A(2) ア(4) ※			○	○	52.6	50.6	4.9	6.1
4(2)イ	水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識と関連付け、適切に説明しているものを選ぶ	水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解しているかどうかをみる	4A(2) ア(9)		4B(4) ア(4)	○	○	64.1	64.2	1.0	1.3
4(2)エ	水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識と関連付け、適切に説明しているものを選ぶ	水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解しているかどうかをみる	4A(2) ア(9)		4B(4) ア(4)	○	○	57.6	57.5	1.1	1.5
4(3)カ	海にある氷がとけることについて、氷が氷に変わる温度を根拠に予想しているものを選ぶ	氷が氷に変わる温度を根拠に、オホーツク海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現することができるかどうかをみる	4A(2) ア(9) ※			○	○	58.8	59.8	1.8	2.3
4(3)キ	氷が陸から海へ流れていくことについて、氷の行方と関連付けているものを選ぶ	氷がとけてできた氷が海に流れていくことの根拠について、理科で学習したことと関連付けて、知識を概念的に理解しているかどうかをみる			4B(3) ア(7)	○	○	60.1	60.9	1.9	2.4
4(3)ク	海面水位の上昇について、水の温度による体積の変化を根拠に予想しているものを選ぶ	「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現することができるかどうかをみる	4A(2) ア(7) ※			○	○	66.3	65.6	1.9	2.5

※本設問において、思考力、判断力、表現力等をみるために用いる知識及び技能を示している。

中学校 国語

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)					
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等					山口県(公立)	全国(公立)	山口県(公立)	全国(公立)				
			(1)	(2)	(3)	A	B	C										
			(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	(2) 情報の扱い方に関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式				
1一	変換した漢字として適切なものを選択する(かいしん)	文脈に即して漢字を正しく使うことができるかどうかをみる	2ウ						○			○			32.1	35.2	0.1	0.2
1二	ちらしに「会場図」を加えた目的を説明したものとして適切なものを選択する	目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる					1ア			○		○			83.9	82.5	0.1	0.2
1三	ちらしの中の情報について、示す位置を変えた意図を説明したものとして適切なものを選択する	書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考慮することができるかどうかをみる					1イ			○		○			64.3	63.3	0.3	0.5
1四	ちらしの読み手に向けて、今年の美術展の工夫について伝える文章を書く	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる					1ウ			○		○			33.1	31.0	1.8	1.6
2一	スライドを使ってどのように話しているのかを説明したものとして適切なものを選択する	資料や機器を用いた話し方の工夫を捉えることができるかどうかをみる					2ウ			○		○			38.8	38.1	0.3	0.3
2二	聞き手の反応を見て発した言葉について、そのように発言した理由を説明したものとして適切なものを選択する	相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる					1ウ			○		○			78.7	77.9	0.2	0.3
2三	「話の順序を入れ替えた方がよい」という助言の意図を説明したものとして適切なものを選択する	自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができるかどうかをみる					2イ			○		○			75.1	73.4	0.6	0.6
2四	発表のまとめの内容をより分かりやすく伝えるためのスライドの工夫について、どのような助言をするか、自分の考えを書く	資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる					2ウ			○		○			24.6	23.2	4.1	4.0
3一	物語の始めに問いかけが示されていることについて、その効果を説明したものとして適切なものを選択する	表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる						1エ		○		○			80.1	80.0	0.5	0.5
3二	「兄」と「弟」が、物語の中でどのような性格の人物として描かれているかを書く	文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうかをみる						2ア		○		○			90.7	89.9	3.5	4.0
3三	「しきりと」の意味として適切なものを選択する	事象や行為を表す語句について理解しているかどうかをみる	1ウ						○			○			61.6	61.0	0.8	0.8
3四	「一椋木の実」に書かれている場面が、「二釣の話」には書かれていないことによる効果について、自分の考えとどのように考えた理由を書く	文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる						1エ		○		○			17.1	17.1	27.9	28.1
4一	手紙の下書きを見直し、誤って書かれている漢字を見付けて修正する	読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる					1エ			○		○			56.6	57.3	33.4	33.5
4二	手紙の下書きを見直し、修正した方がよい部分を見付けて修正し、修正した方がよいと考えた理由を書く	読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる					1エ			○		○			31.6	30.1	18.3	19.1

中学校 数学

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			A数と式	B図形	C関数	Dデータの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	山口県(公立)	全国(公立)	山口県(公立)	全国(公立)
1	1から9までの数の中から素数を全て選ぶ	素数の意味を理解しているかどうかをみる	1 (1) ア(ア)				○			○			25.1	31.8	0.9	0.7
2	果汁40%の飲み物a㎖に含まれる果汁の量を、aを用いた式で表す	数量を文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる	1 (2) ア(エ)				○			○			53.2	51.9	6.3	7.3
3	△ABCにおいて、∠Aの大きさが50°のときの頂点Aにおける外角の大きさを求める	多角形の外角の意味を理解しているかどうかをみる	2 (1) ア(イ)				○			○			58.8	58.1	1.8	2.0
4	一次関数 $y=6x+5$ について、xの増加量が2のときのyの増加量を求める	一次関数 $y=ax+b$ について、変化の割合を基に、xの増加量に対するyの増加量を求めることができるかどうかをみる	2 (1) ア(ア)				○			○			33.4	34.7	7.7	8.0
5	ある学級の生徒40人のハンドボール投げの記録をまとめた度数分布表から、20m以上25m未満の階級の相対度数を求める	相対度数の意味を理解しているかどうかをみる				1 (1) ア(ア)	○			○			42.1	42.5	8.9	9.4
6(1)	連続する二つの3の倍数の和が9の倍数になるとは限らないことの説明を完成するために、予想が成り立たない例をあげ、その和を求める	事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができるかどうかをみる	2 (1) ア(ウ) イ(イ)				○			○			59.9	62.8	3.9	4.6
6(2)	$3n$ と $3n+3$ の和を $2(3n+1)+1$ と表した式から、連続する二つの3の倍数の和がどんな数であるかを説明する	式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	2 (1) イ(イ)				○			○			23.7	25.7	22.9	24.9
6(3)	連続する三つの3の倍数の和が、9の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる	2 (1) イ(イ)				○			○			47.6	45.2	20.0	20.2
7(1)	Aの手元のカードが3枚とも「ゲー」、Bの手元のカードが3枚とも「チョキ」でじゃんけんカードゲームの1回目を行うとき、1回目にAが勝つ確率を書く	必ず起こる事柄の確率について理解しているかどうかをみる				2 (2) ア(ア)	○			○			78.4	77.4	2.7	3.2
7(2)	Aの手元のカードが「ゲー」、「チョキ」、「パー」、「パー」の4枚、Bの手元のカードが「ゲー」、「チョキ」の2枚のとき、AとBの勝ちやすさについての正しい記述を選び、その理由を確率を用いて説明する	不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる				2 (2) イ(イ)	○			○			58.1	55.9	2.3	2.2
8(1)	A駅からの走行距離と運賃の関係を表すグラフの何を読み取ればC駅とD駅の間の走行距離が分かるかを選ぶ	事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる				1 (1) ア(ウ)	○			○			71.9	71.9	2.1	2.3
8(2)	A駅から60.0km地点につくられる新しい駅の運賃がおよそ何円になるかを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる				1 (1) イ(イ)	○			○			38.2	38.0	35.9	35.0
9(1)	四角形AECFが平行四辺形であることの証明を振り返り、新たに分かることを選ぶ	証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすことができるかどうかをみる	2 (2) ア(イ)				○			○			57.3	58.5	1.1	1.1
9(2)	平行四辺形ABCDの辺CB、ADを延長した直線上にBE=DFとなる点E、Fを取っても、四角形AECFは平行四辺形となることの証明を完成する	統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができるかどうかをみる	2 (2) イ(ア)				○			○			34.0	36.3	7.8	7.2
9(3)	平行四辺形ABCDの辺BC、DAを延長した直線上にBE=DFとなる点E、Fを取り、辺ABと線分FCの交点をG、辺DCと線分AEの交点をHとしたとき、四角形AGCHが平行四辺形になることを証明する	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる	2 (2) イ(イ)				○			○			30.7	33.2	30.7	31.5

中学校 理科

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			エネルギー	粒子	生命	地球	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	山口県(公立)	全国(公立)	山口県(公立)	全国(公立)
1(1)	電熱線を利用して水を温めるための電気回路について、直列と並列とで回路全体の抵抗が大きい装置や速く水が温まる装置を選択する	電熱線で水を温める学習場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる	(3)(7)②				○		○			50.6	51.9	0.2	0.2	
1(2)	「理科の実験では、なぜ水道水ではなく精製水を使うのかな?」という疑問を解決するための課題を記述する	身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できるかどうかをみる	(2)(7)②				○			○		44.0	46.2	8.3	8.0	
1(3)	地層1から地層4までの性質から、水が染み出る場所を判断し、その場所を選択する	露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粗の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈できるかどうかをみる			(2)(7)②		○		○			35.8	36.2	0.5	0.6	
1(4)	生物1から生物4までの動画を見て、呼吸を行う生物をすべて選択する	水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付いているかどうかをみる			(3)(9)②		○		○			33.1	29.7	0.2	0.2	
1(5)	塩素の元素記号を記述する	塩素の元素記号を問うことで、元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる	(4)(7)②				○			○		45.2	44.9	8.5	8.5	
1(6)	水道水と精製水に関する2人の発表を見て、探究の過程におけるあなたの振り返りを記述する	科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できるかどうかをみる	(2)(7)②				○			○		79.5	79.4	9.3	9.9	
2(1)	【考察】をより確かなものにするために必要な実験を選択し、予想される実験の結果を記述する	【考察】をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明できるかどうかをみる	(1)(7)②				○			○		13.5	14.0	1.9	1.9	
2(2)	「Webページの情報だけを信用して考察してよいか」について判断し、その理由として適切なものをすべて選択する	ストーリーの太さと音の高低に関する情報を収集してまとめを行う学習活動の場面で、収集する資料や情報の信頼性についての知識及び技能が身に付いているかどうかをみる	(1)(7)②				○		○			93.9	94.6	0.1	0.1	
3(1)	設定した【仮説】が正しい場合の実験結果の予想を選択する	仮説を立てて科学的に探究する学習場面において、電気回路に関する知識及び技能を活用して、仮説が正しい場合の結果を予想することができるかどうかをみる	(3)(7)②				○		○			33.9	34.9	0.3	0.2	
3(2)	抵抗に関する知識を手掛かりに、身近な電気回路に抵抗がついている理由を選択する	身近な電化製品の電気回路について探究する学習場面において、回路に抵抗が付いている理由を問うことで、抵抗に関する知識が概念として身に付いているかどうかをみる	(3)(7)②				○		○			85.9	85.2	0.1	0.1	
4(1)	プロパンガスと都市ガスでシャボン玉を作ったときの様子から、プロパンガス、都市ガス、空気の密度の大きさを判断し、小さい順に並べる	ガス警報器の設置場所が異なる理由を考える学習場面において、実験の様子と、密度に関する知識及び技能を関連付けて、それぞれの気体の密度の大小関係を分析して解釈できるかどうかをみる	(2)(7)②				○		○			49.4	50.4	0.1	0.1	
4(2)	「一酸化炭素は空気より軽い」という性質を基に、適切な避難行動を選択する	火災における適切な避難行動を問うことで、気体の性質に関する知識が概念として身に付いているかどうかをみる	(2)(7)②				○		○			91.8	92.8	0.1	0.1	
5(1)	加熱を伴う実験において、火傷をしたときの適切な応急処置を選択する	加熱を伴う実験における実験器具の操作等に関する技能が身に付いているかどうかをみる	(2)(7)②				○		○			94.1	93.0	0.0	0.1	
5(2)	実験の動画と実験結果の図から、どのような化学変化が起きているか判断し、原子や分子のモデルを移動させることで、その化学変化をモデルで表す	化学変化に関する知識及び技能を活用して、実験の結果を分析して解釈し、化学変化を原子や分子のモデルで表すことができるかどうかをみる	(4)(4)②				○			○		37.8	35.6	4.3	4.6	
6(1)	牧野富太郎の「ノジギク」のスケッチから分かるスケッチの技能について、適切なものを選択する	スケッチから分かることを問うことで、スケッチに関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる	(1)(7)②				○		○			67.6	65.9	0.2	0.2	
6(2)	牧野富太郎の「サクユリ」のスケッチから、サクユリの【茎の横断面】、【根】として適切なものを判断し、選択する	スケッチから分かる植物の特徴を基に、植物の葉、茎、根のつくりに関する知識及び技能を活用して、植物の茎の横断面や根の構造について適切に表現できるかどうかをみる	(3)(4)②				○		○			39.0	41.9	0.2	0.1	
7(1)	小腸の柔毛、肺の肺胞、根毛に共通する構造と同じ構造をもつものとして適切な事象を判断し、選択する	小腸の柔毛、肺の肺胞、根毛に共通する構造について学習する場面において、共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、多面的、総合的に分析して解釈することができるかどうかをみる	(3)(9)②				○					30.4	34.8	0.2	0.2	
7(2)	消化によってデンプンがブドウ糖に分解されることと、同じ化学変化であるものを選択する	分解に関する身近な事象を問うことで、これまでに学習した理科の知識及び技能を基に、化学変化の分解の知識が概念として身に付いているかどうかをみる	(4)(7)②	(3)(9)②			○		○			49.4	51.6	0.3	0.2	
8(1)	大地の変化に関する言い伝えを1つ選択し、その選択した言い伝えが科学的に正しいと判断するための理由を「地層を調べたときに何が分ればよいか」に着目して記述する	地域の言い伝えを科学的に探究する学習場面において、大地の変化と、地層の様子やその構成物に関する知識及び技能を関連付けて、地層の重なり方や広がり方を推定できるかどうかをみる	(2)(4)②				○			○		48.7	42.2	3.1	3.2	
8(2)	Aさんの考えを肯定するためにはボーリング地点③の結果がどのようになればよいかを判断し、青色の地層を移動させ、ボーリング地点③の結果をモデルで表す	大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討して表現できるかどうかをみる	(2)(4)②				○			○		17.9	18.1	0.8	1.1	
9(1)	【予想】から学習した内容が反映されたAさんの【振り返り】を読み、Aさんの【予想】を判断し、選択する	気圧について科学的に探究する場面において、状態変化や圧力に関する知識及び技能を基に、予想が反映された振り返りについて問うことで、探究の過程の見通しについて分析して解釈できるかどうかをみる	(4)(7)②				○		○			30.5	31.8	0.2	0.3	
9(2)	クリーンルームのほかに気圧を利用して身の回りの身近な事象を選択する	気圧に関する身近な事象を問うことで、気圧の知識が概念として身に付いているかどうかをみる	(4)(7)②				○		○			51.1	58.1	0.3	0.3	

(3) 具体的な問題と解答状況

① 小学校国語

○成果と考えられる点

「目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」について記述式で答える問題について、全国平均を4.5%上回っている。

2 三

○ ○ ○ (条件)  
 「ちらし」の 部を書き直し、くわしくすること。(一文でなくてもよい。)  
 「調べたこと」の (本を読んで分かったこと) と (使ってみて分かったこと) のそれぞれから  
 言葉や文を取り上げて書くこと。  
 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

【調べたこと】

<p>(本を読んで分かったこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ブックカバー                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・何回か折るだけで、すぐに完成する。</li> <li>・本の大きさに合わせて包むことができる。</li> </ul> </li> <li>○ペットボトルカバー                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットボトルを包んで持ち運ぶことができる。</li> </ul> </li> </ul>	<p>(使ってみて分かったこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ブックカバー                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・よごれがつくのを防ぐことができよかった。</li> <li>・落としたときに、本がきずつかなかった。</li> </ul> </li> <li>○ペットボトルカバー                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・水てきが荷物につかなくてよかった。</li> <li>・温かい飲み物が冷めにくかった。</li> </ul> </li> </ul>
--	---



三 山田さんは、「ちらし」の書き表し方について友達に相談し、「ちらし」の 部をくわしく書いたほうがよいと考え、次の「調べたこと」を見直しました。あなたが山田さんなら、どのように書き直しますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【正答例】何回か折って本を包むと、ブックカバーになり、よごれがつくのを防ぐことができます。また、ペットボトルを包んで持ち運ぶこともでき、水てきが荷物につくのを防ぐことができます。(84字)

	正答率
山口県	65.8%
全 国	61.3%

●課題が見られる点

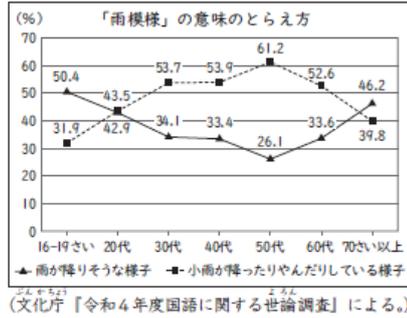
「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること」について、課題が見られる。

3 三 (1)

- 4 【資料1】の 部④
- 3 【資料1】の 部③
- 2 【資料1】の 部②
- 1 【資料1】の 部①

(1) 【話し合いの様子】の A に当てはまる内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

言葉の変化については、いろいろな考え方があんだね。もう一度【資料1】を読み返して、言葉の変化について自分が一番なっとくしたことをまどめよう。



【資料4】

ぼくが読んだ二つの資料(【資料2】、【資料3】)には、言葉が変化していることが書かれていたよ。【資料1】に「言葉の正誤を軽々しく決めることはできない」と書かれていることにつながっているよ。



こんなふうに、人によって言葉の意味のとらえ方がちがうと、伝え合うときに困ると思うよ。だから、【資料1】に「A」と書かれているとおりでと思うよ。



本当だ。三十代から六十代は本来の意味とはちがう「小雨が降ったりやんだりしている様子」ととらえている人の割合が高いね。



私は、この資料(【資料4】)を見つけたよ。これを見ると、世代によって、「雨模様」の意味のとらえ方にちがいがあることが分かるでしょ。



【話し合いの様子】

三 木村さんは、言葉の変化について田中さんと話し合いながら、【資料1】を読み返しています。次の【話し合いの様子】をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましよう。

【正答】 3 三 (1) 3

	正答率
山口県	39.1%
全国	40.8%

② 小学校算数

○成果と考えられる点

「伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすこと」について、相当数の児童ができている。

4 (1)

4

保健委員のあさひさんたちは、手を洗うときに使っているハンドソープについて話し合っています。



あさひ ハンドソープを空になるまで使うとしたら、何プッシュすることができるのかを知りたいです。

1プッシュとは、容器の先たんを下までしっかり1回おすことです。  
1プッシュしたとき、ハンドソープの液体が毎回同じ量ずつ出ることします。



(1) まず、あさひさんは、保健室にある新品のハンドソープを空になるまで使うとしたら、何プッシュすることができるのかを考えています。



あさひ 保健室にある新品のハンドソープには、ハンドソープの液体が240 mL入っています。

新品のハンドソープには、ハンドソープの液体が240 mL入っています。新品のハンドソープが空になるまでに何プッシュすることができるのかを知るためには、240 mLの他に何がわかればよいですか。

下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 1プッシュ分のハンドソープの液体の量 3 mL
- イ 1プッシュするときにおす長さ 2 cm
- ウ あさひさんが1日にプッシュする回数の平均 8回
- エ あさひさんが手を洗うときにかかる時間の平均 60秒

【正答】 4 (1) ア

	正答率
山口県	81.3%
全国	82.8%

●課題が見られる点

「数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を統合的・発展的に考察すること」について、課題が見られる。

3 (2)

3

ひろとさんたちは、小数や分数のたし算についてふり返っています。

(1) ひろとさんは、 $0.4 + 0.3$  についてまとめています。



0.4 は 0.1 の 4 個分、0.3 は 0.1 の 3 個分です。  
0.1 を  $\textcircled{0.1}$  として下の図のように表します。



0.4 + 0.3 の計算は、0.1 をもとにするすると、 $4 + 3$  を使って考えることができます。

$0.4 + 0.3$  は、0.1 をもとにする数にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、 $0.4 + 0.05$  について同じようにまとめます。

0.4 は  $\textcircled{\quad}$  の 40 個分、0.05 は  $\textcircled{\quad}$  の 5 個分です。  
 $0.4 + 0.05$  の計算は、 $\textcircled{\quad}$  をもとにすると、 $40 + 5$  を使って考えることができます。

上の  $\textcircled{\quad}$  にはすべて同じ数が入ります。 $\textcircled{\quad}$  に入る数を書きましょう。

(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  についてまとめています。



$\frac{2}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  の 2 個分、 $\frac{1}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  の 1 個分です。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  の計算は、 $\frac{1}{5}$  をもとにすると、 $2 + 1$  を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  は、もとにする数を  $\frac{1}{5}$  にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$  について考えています。



$\frac{3}{4}$  は  $\frac{1}{4}$  の 3 個分、 $\frac{2}{3}$  は  $\frac{1}{3}$  の 2 個分です。

もとにする数が  $\frac{1}{4}$  と  $\frac{1}{3}$  でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$  についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$  はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$  はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

【正答例】 3 (2)

$\frac{3}{4}$  と  $\frac{2}{3}$  のもとにする量を同じにするとき、その数は  $\frac{1}{12}$  になります。 $\frac{3}{4}$  は  $\frac{1}{12}$  の 9

個分、 $\frac{2}{3}$  は  $\frac{1}{12}$  の 8 個分です。

	正答率
山口県	21.6%
全国	23.0%

③ 小学校理科

○成果と考えられる点

「電磁石の強さはコイルの巻き数によって変わること」の理解について、相当数の児童ができている。

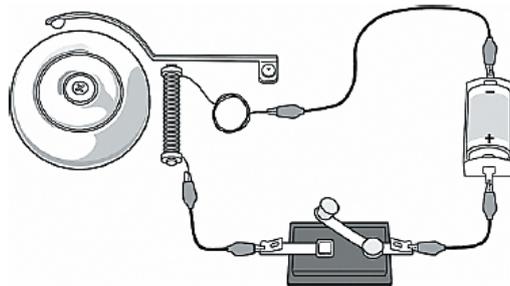
2 (3) いおりさんとてつやさんは、かね（ベル）について話しています。

かね（ベル）の鳴る音が小さいので、音を大きくしたいね。電磁石の強さを強くして、かねを強くたたけばいいね。



電磁石の強さを強くするには、次のようにするといいね。

- ・電磁石のコイルの巻き数を変えたら、巻き数を（ア）。
- ・かん電池を変えたら、かん電池を2個直列つなぎにする。



(3) 上のふきだしの（ア）にあてはまることばを書きましょう。

【正答】 2 (3) (例) 多くする

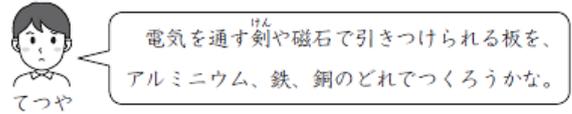
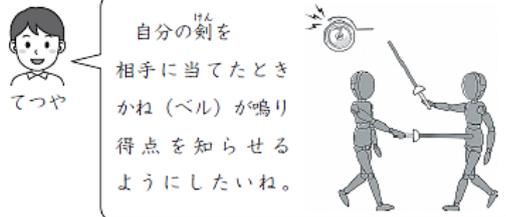
	正答率
山口県	80.8%
全国	78.0%

●課題が見られる点

「身の回りの金属において、電気を通すもの、磁石に引き付けられる物があること」の理解について、課題が見られる。

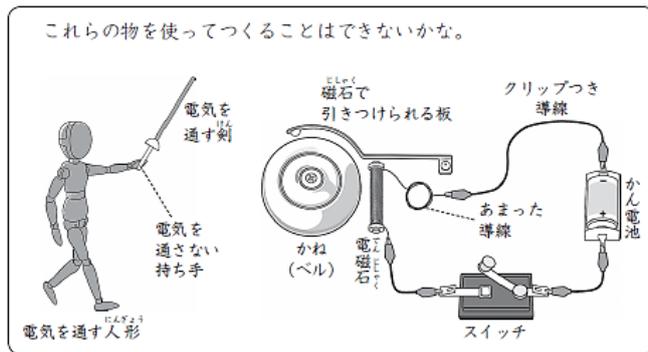
2 (1)

てつやさんといおりさんは、これまでに学習した電気の性質を利用して、フェンシングのおもちゃをつくることができないか、話しています。



(1) アルミニウム、鉄、銅の性質について、下の 1 から 4 までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。同じ番号を選んでかまいません。

- 1 電気を通し、磁石に引きつけられる。
- 2 電気を通し、磁石に引きつけられない。
- 3 電気を通さず、磁石に引きつけられる。
- 4 電気を通さず、磁石に引きつけられない。



【正答】2 (1)

アルミニウム	2
鉄	1
銅	2

	正答率
山口県	10.7%
全国	10.6%

④ 中学校国語

○成果と考えられる点

「目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること」について、相当数の生徒ができている。

1 二

- 1 第一中学校では、毎年、美術の時間につくった作品を展示する美術展を行っています。今年は、昨年美術展に来場した小学生の感想をもとに、内容を工夫して開催します。実行委員の中井さんは、地域の小学校6年生に向けて、来場を促すためのちらしを作成することになりました。次は、中井さんが参考にした【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】と、文書作成ソフトを用いて作成している【ちらし】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】

第一 第一中学校					
ホーム	学校紹介	行事予定	学校生活	保護者の方へ	
<b>行事のご案内</b>					
更新日 令和7年10月3日					
<b>美術展の開催のお知らせ</b>					
<p>秋の恒例となった「第一中学校 美術展」を開催いたします。各学年の生徒たちは、美術展に向けて作品づくりに励んでおります。ご多忙とは存じますが、生徒たちの力作をご覧いただければ幸いです。ご来校をお待ちしております。</p>					
◆開催日時					
令和7年11月15日（土） 10時～16時					
◆開催場所					
第一中学校 体育館					

【ちらし】

**第一中学校 美術展**

毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいしんの出来です。

今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。体験コーナーでは、中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。

日時 令和7年11月15日（土） 10時～16時  
場所 第一中学校 体育館

会場図

体験できる時間（各回30分間）  
①10時～ ②11時～ ③12時～ ④13時～

二 中井さんは、【ちらし】に、【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】には示されていない「会場図」を加えました。どのような目的で加えたと考えられますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 小学校6年生に向けたちらしであることを示すため。
- 2 ウェブページの情報と比較しやすくするため。
- 3 会場となる体育館まで迷わずに来てもらうため。
- 4 展示する作品と体験コーナーの内容や配置を伝えるため。

【正答】 1 二 4

	正答率
山口県	83.9%
全国	82.5%

●課題が見られる点

「文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えること」について、記述式で答えることに課題が見られる。

3 四

--	--	--	--	--	--	--

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

四  で囲まれた部分には、兄弟が目的を達成できなかった場面のもとに続く話が書かれています。あとに続く話は、「一 榎木の実」にはありますが、「二 釣の話」にはありません。このような展開になっていることは、「二人の兄弟」という物語においてどのような効果があると考えますか。あなたの考えとその理由を具体的に書きなさい。理由を書く際には、物語の内容を取り上げて書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

(島崎藤村「二人の兄弟」による)

3 次の文章は、島崎藤村が書いた「二人の兄弟」という物語です。この物語は、「一 榎木の実」、「二 釣の話」で構成されています。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【正答例】 3 四

読者の意表を突く効果がある。なぜなら、「一 榎木の実」には、失敗した兄弟が、お爺さんのおかげで成功する場面が書かれているため、「二 釣の話」も同じような展開になると予想して読み進める読者が多いと思うからだ。

	正答率
山口県	17.1%
全国	17.1%

⑤ 中学校数学

○成果と考えられる点

「必ず起こる事柄の確率について理解すること」について、相当数の生徒ができて  
いる。

7 (1)

7 優斗さんと芽依さんは、地域のイベントで「じゃんけんカードゲーム」を行うことを計画しました。そこで、表に「グー」、「チョキ」、「パー」の絵がかかれたカードをそれぞれ同じ枚数ずつたくさん準備しました。これらのカードを裏にすると、表の「グー」、「チョキ」、「パー」の絵はわかりません。

二人は、これらのカードを使ったゲームの進め方を、次のように考えました。

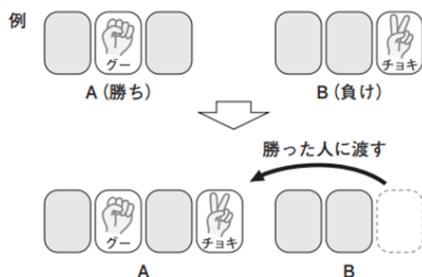


進め方

① 準備したすべてのカードを裏にしてよく混ぜ、裏にしたまま、対戦するAとBの手元にそれぞれ3枚ずつ並べる。



② AとBは、手元のカードのいずれか1枚を同時に表にする。じゃんけんのルールをもとに勝敗を決め、負けた人は勝った人に表にしたカードを渡す。これを1回目とする。



ただし、あいこのときはカードの受け渡しをせず、1回目を終了する。

③ 1回目終了後、自分の手元のカードを、すべて裏にしてよく混ぜてから並べ、②と同様に2回目を行う。

④ 2回目終了後、手元のカードの枚数に応じて景品をもらう。

優斗さんと芽依さんは、前ページの進め方でゲームを行うときのAとBのそれぞれの勝ちやすさについて調べることにしました。

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。ただし、手元のカードのいずれか1枚を表にするとき、どのカードを表にすることも同様に確からしいものとします。

(1) 優斗さんと芽依さんは、前ページの進め方で、右の図のようにAとBのそれぞれの手元のカードが同じ絵のカードになる場合があることに気づきました。



Aの手元のカードが3枚とも「グー」、Bの手元のカードが3枚とも「チョキ」で1回目を行うとき、次のことがいえます。

1回目は必ずAが勝つから、1回目にAが勝つ確率は  である。

上の  に当てはまる数を書きなさい。

【正答】 7 (1) 1

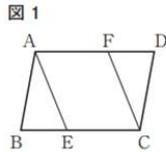
	正答率
山口県	78.4%
全国	77.4%

●課題が見られる点

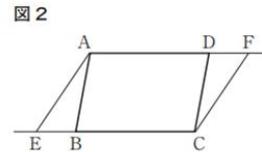
「統合的・発展的に考え条件を変えた場合について、証明を評価・改善すること」  
 について、課題が見られる。

9 (2)

9 右の図1のように、平行四辺形ABCDの辺BC、DA上に、 $BE = DF$ となる点E、Fをそれぞれとります。  
 このとき、四角形AECFは平行四辺形になります。このことは、次のように証明できます。



(2) 次の図2のように、平行四辺形ABCDの辺CB、ADを延長した直線上に、 $BE = DF$ となる点E、Fをそれぞれとって、四角形AECFは平行四辺形になります。このことは、前ページの証明1の一部を書き直すことで証明できます。書き直すことが必要な部分を、下のアからオまでの中から1つ選び、正しく書き直しなさい。



証明1

平行四辺形の向かい合う辺は平行だから、

$$AD \parallel BC$$

よって、 $AF \parallel EC$  ……①

平行四辺形の向かい合う辺は等しいから、

$$AD = BC$$

仮定より、

$$DF = BE$$

②、③より、

$$AD - DF = BC - BE$$

④より、

$$AF = EC$$

①、⑤より、

1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しいから、  
 四角形AECFは平行四辺形である。

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 証明1では、四角形AECFが平行四辺形であることを証明しました。四角形AECFが平行四辺形であることから、新たにわかることがあります。それを下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア  $BE = DF$                       イ  $AF = EC$
- ウ  $AE = FC$                       エ  $AB = DC$

- ア
- イ
- ウ
- エ
- オ

平行四辺形の向かい合う辺は平行だから、  
 $AD \parallel BC$   
 よって、 $AF \parallel EC$  ……①

平行四辺形の向かい合う辺は等しいから、  
 $AD = BC$  ……②

仮定より、  
 $DF = BE$  ……③

②、③より、  
 $AD - DF = BC - BE$  ……④

④より、  
 $AF = EC$  ……⑤

①、⑤より、  
 1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しいから、  
 四角形AECFは平行四辺形である。

【正答例】 9 (2)

エを選択して ②、③より、 $AD + DF = BC + BE$  ……④

	正答率
山口県	34.0%
全国	36.3%

⑥ 中学校理科

○成果と考えられる点

「探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現すること」について、相当数の生徒ができている。

1 (6)

探究を振り返る

水道水、精製水について探究したことを発表しています。

**水道水について**

- ・河川の水などを顕微鏡で観察すると、いろいろな生物がいるので、安全に飲むための工夫をしている。
- ・河川の水などを浄水施設でろ過し、塩素を注入したものを水道水として利用している。

**精製水について**

- ・理科の実験で使用する精製水は、水道水を蒸留したり、ろ過したりしてつくられ、販売されている。
- ・精製水とミネラルウォーターとの違いは何かを現在調べている。

探究を通じて、さらに疑問に感じたことに着目して振り返ります。

…水について、…ということが分かり、…についてさらに疑問を感じたので…

Bさん

探究を通じて、はじめの考えから考えが変化したことに着目して振り返ります。

最初は…とって思っていたが、…という考えに変わりました。

Cさん

探究を通じて、身近な生活とのつながりを感じたことに着目して振り返ります。

…ので、身近な生活とのつながりがあることが分かりました。

Dさん

(6)

上の発表を見て、水道水や精製水に対し、Bさん、Cさん、Dさんを参考にして、あなたの振り返りを書きなさい。

【正答】 1 (6)

(例) 精製水は水道水を蒸留したり、ろ過したりしているということが分かり、ミネラルウォーターはどのようにしてつくられているかについてさらに疑問を感じたので、調べてみたいと思いました。

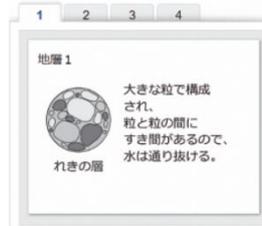
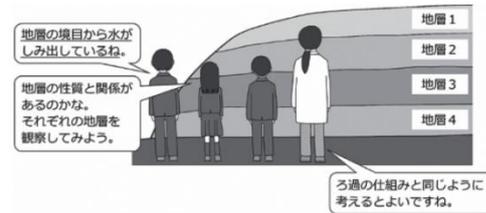
	正答率
山口県	79.5%
全国	79.4%

●課題が見られる点

「小学校で学習した、地層に関する知識及び技能を関連付けて分析し、解釈すること」について、課題がみられる。

1 (3)

水道水のもとになる水について調べる



(3)

下線部の水がしみ出る位置として最も適切なものを、の中から1つ選びなさい。

【正答】 1 (3)



この矢印の部分を選択しているもの

	正答率
山口県	35.8%
全国	36.2%

### 3 質問調査の結果

#### (1) 児童生徒質問

##### ① 子どもの意識・生活習慣

##### ア 朝食を毎日食べている

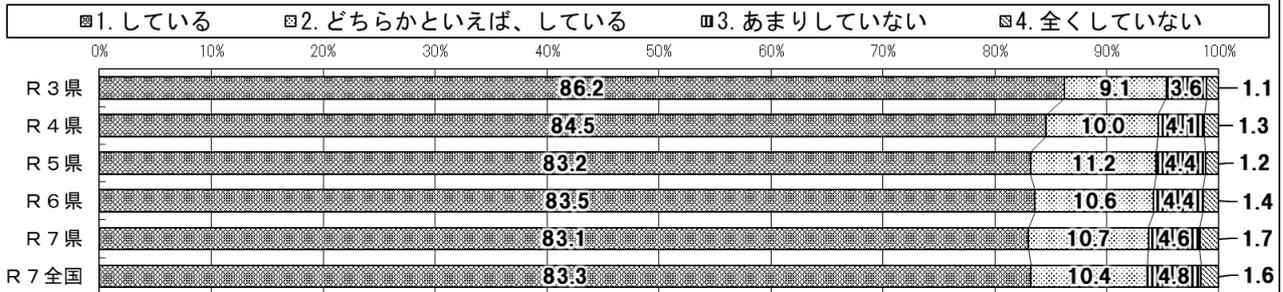
○…全国や経年の比較から見える成果

●…全国や経年の比較から見える課題

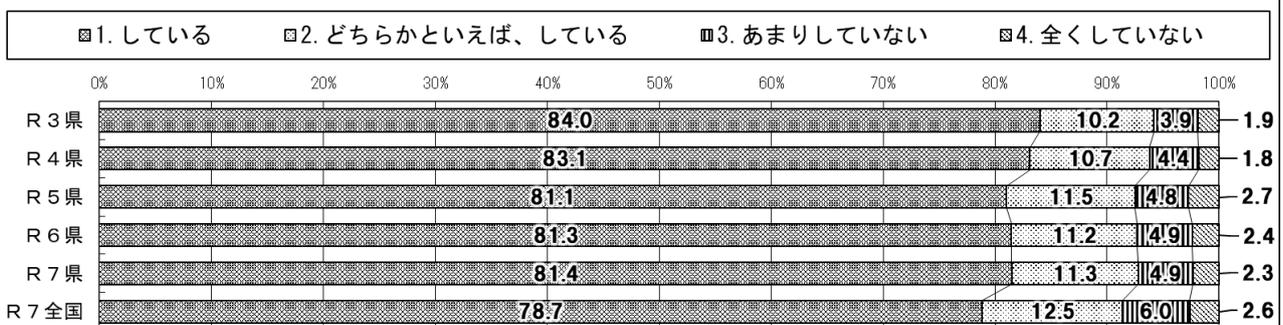
○ している（食べている）と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに8割を超える水準を維持しており、中学校では全国平均を上回っている。

● している（食べている）と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともにやや減少傾向にある。

【小学校】 (1) 朝食を毎日食べていますか



【中学校】 (1) 朝食を毎日食べていますか

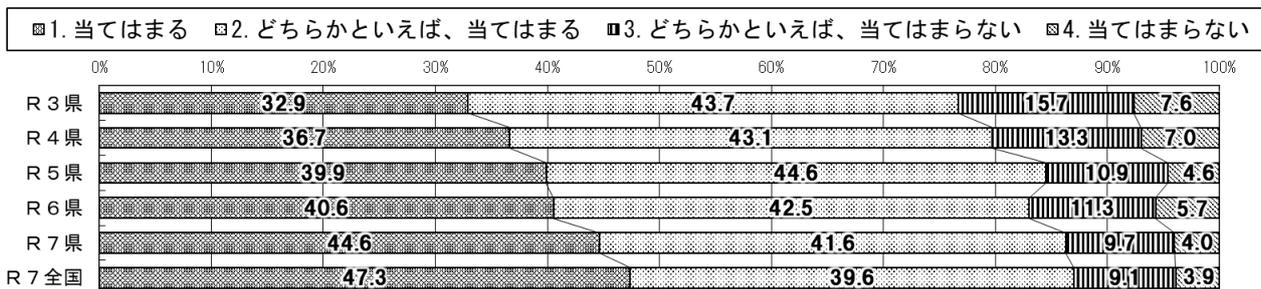


##### イ 自分にはよいところがあると思う

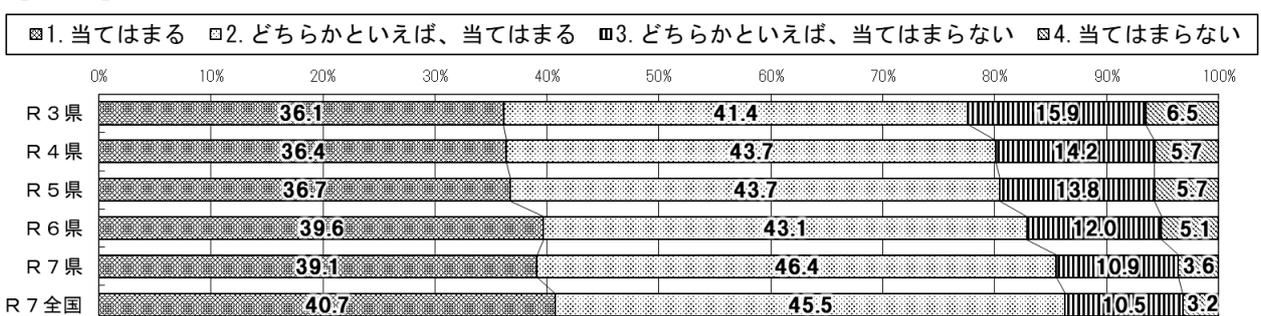
○ 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに増加傾向にある。

● 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国を下回っている。

【小学校】 (5) 自分には、よいところがあると思いますか



【中学校】 (5) 自分には、よいところがあると思いますか

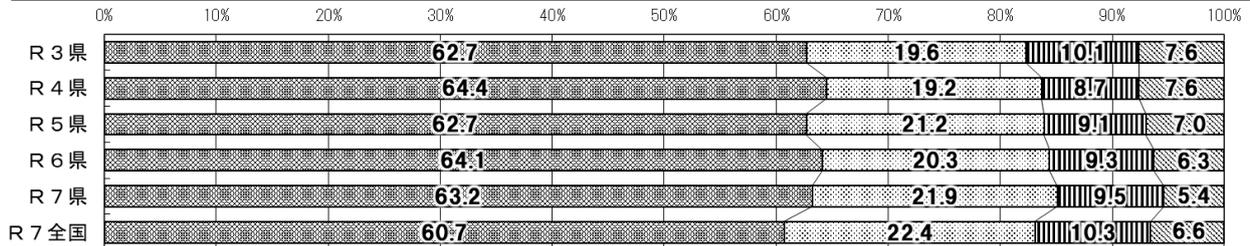


## ウ 将来の夢や目標を持っている

- 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均を上回っている。
- 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小学校で横ばい、中学校で減少傾向がみられる。

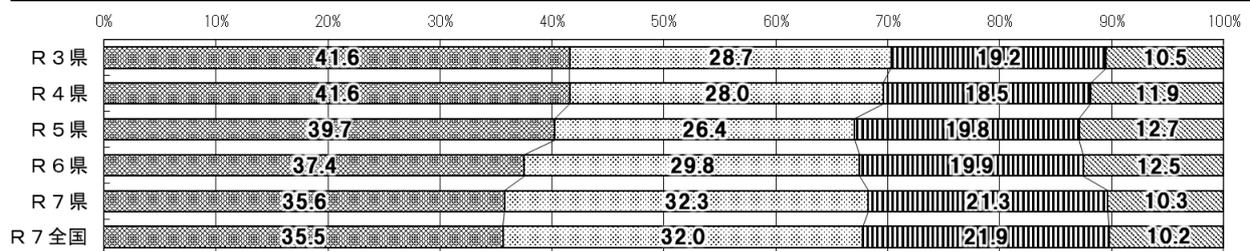
### 【小学校】(7) 将来の夢や目標を持っていますか

- 1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない



### 【中学校】(7) 将来の夢や目標を持っていますか

- 1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない

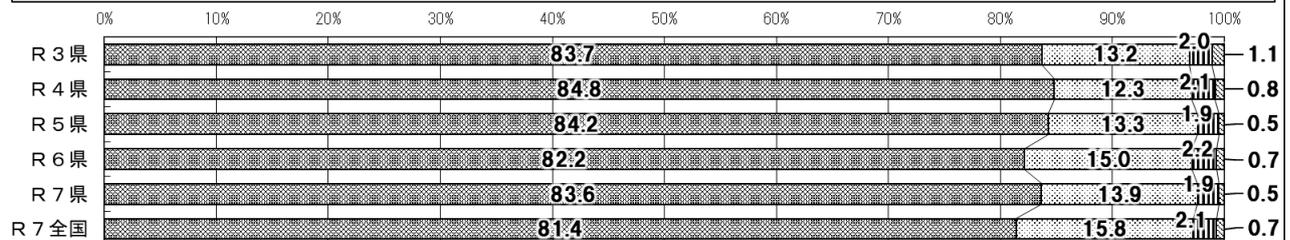


## エ いじめは絶対にいけない

- 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均を上回っている。
- 当てはまると回答した児童生徒の割合は、中学校では令和4年度から減少傾向にある。

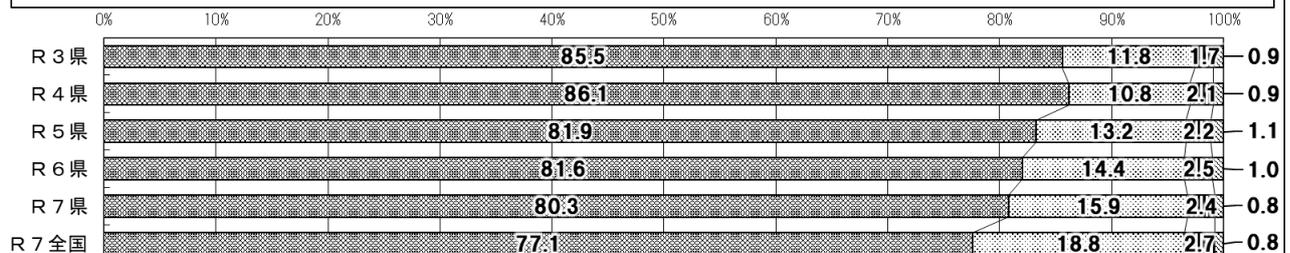
### 【小学校】(9) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

- 1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない



### 【中学校】(9) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

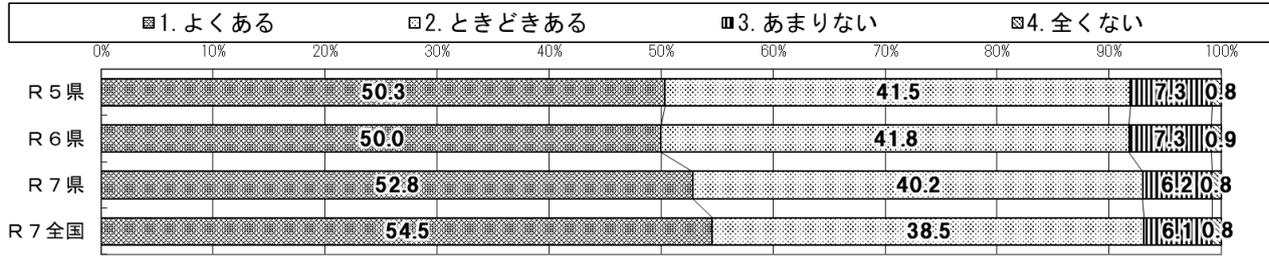
- 1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない



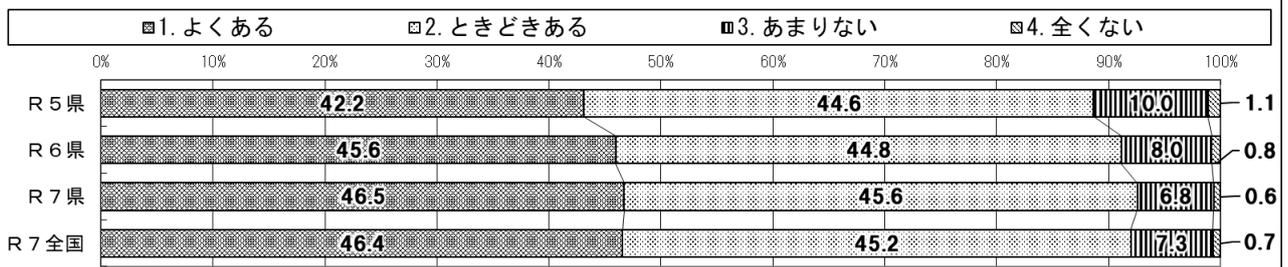
オ 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある

- よくあると回答した児童生徒の割合は、小学校では全国平均を下回っているが、前年度より増加している。
- よくあると回答した児童生徒の割合は、中学校では全国平均と同程度である。

【小学校】(15) 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



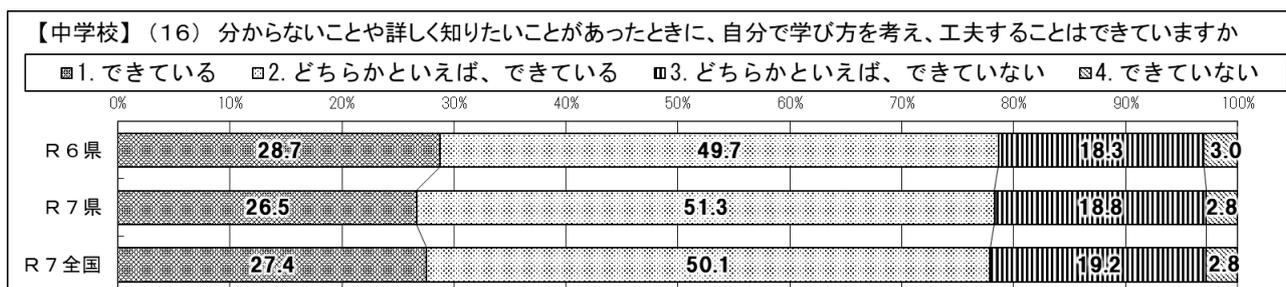
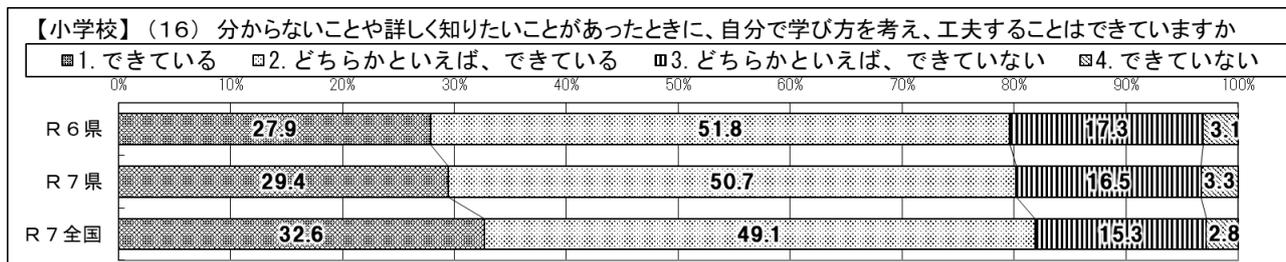
【中学校】(15) 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



## ② 学習習慣・ICT

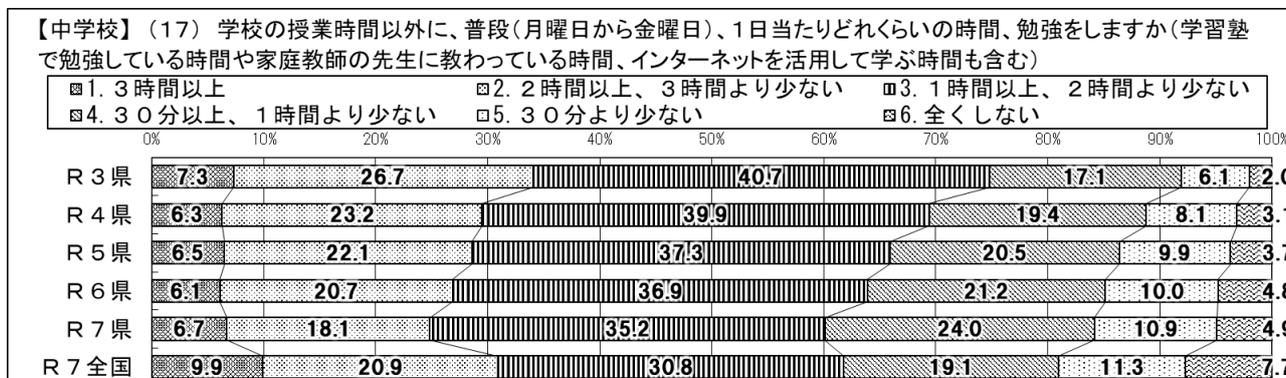
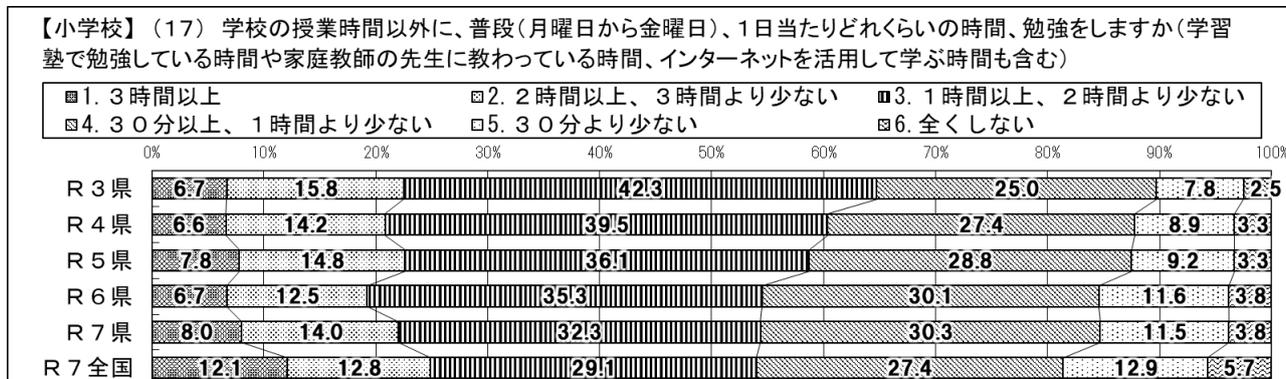
### ア 自分で学び方を考え、工夫すること

- できていると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに30%を下回り、全国平均を下回っている。



### イ 平日の授業時間以外の学習時間

- 学校の授業時間以外の勉強を、平日、「全くしない」「30分より少ない」「30分以上、1時間より少ない」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともにそれぞれ増加傾向にある。

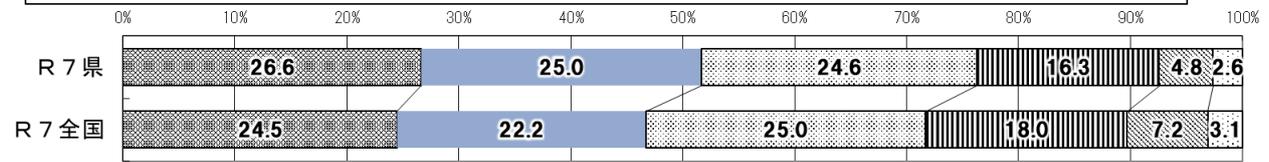


## ウ コンピュータやICTをどの程度活用したか

○ ほぼ毎日（1日複数回、1日1回）と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、全国平均を上回っている。

【小学校】（28）5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

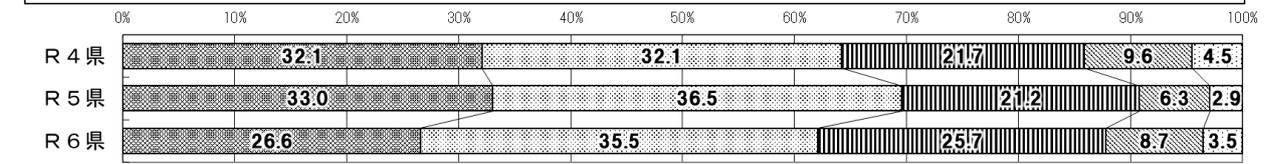
■1. ほぼ毎日（1日複数回） ■2. ほぼ毎日（1日1回） □3. 週3回以上 □4. 週1回以上 □5. 月1回以上 □6. 月1回未満



### <参考>令和6年度までの結果

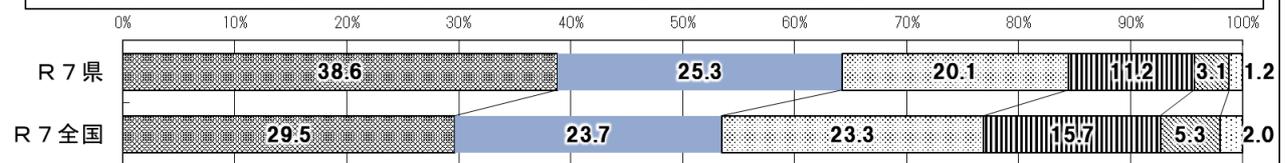
【小学校】（28）5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

■1. ほぼ毎日 □2. 週3回以上 □3. 週1回以上 □4. 月1回以上 □5. 月1回未満



【中学校】（28）1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

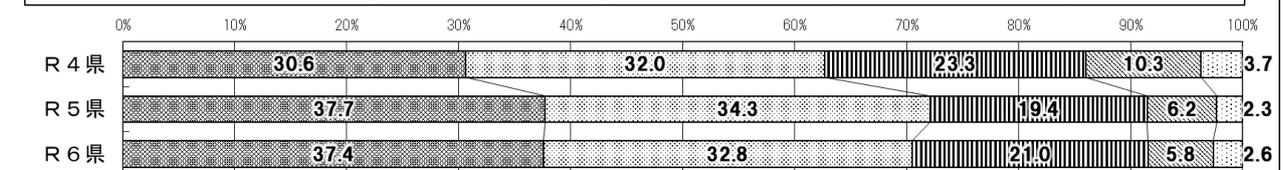
■1. ほぼ毎日（1日複数回） ■2. ほぼ毎日（1日1回） □3. 週3回以上 □4. 週1回以上 □5. 月1回以上 □6. 月1回未満



### <参考>令和6年度までの結果

【中学校】（28）1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

■1. ほぼ毎日 □2. 週3回以上 □3. 週1回以上 □4. 月1回以上 □5. 月1回未満



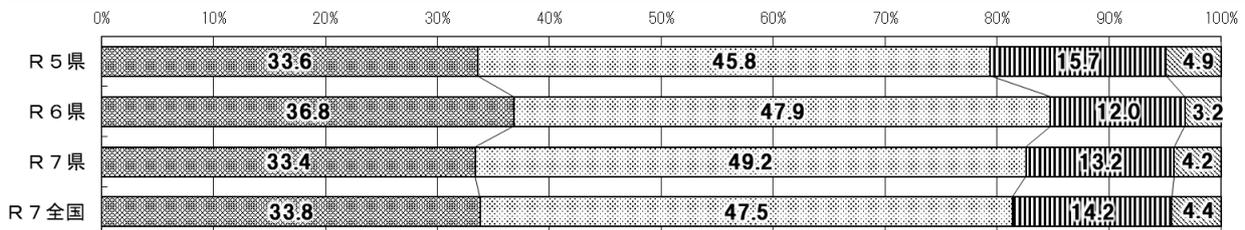
### ③ 地域や社会との関わり

#### ア 地域や社会をよくするために何かしてみたい

- 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均を下回り、昨年度に比べて減少している。

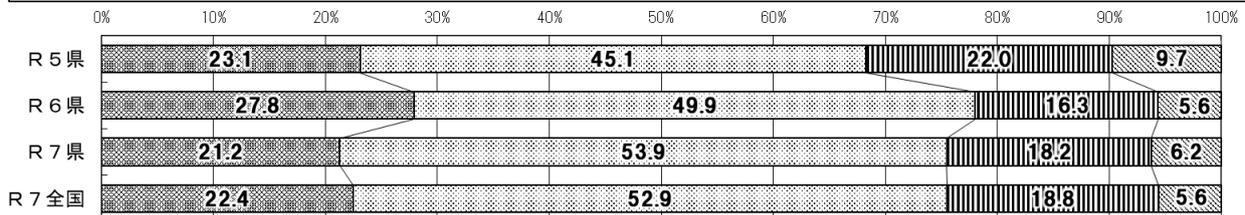
【小学校】(27) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

☐1. 当てはまる ☐2. どちらかといえば、当てはまる ☐3. どちらかといえば、当てはまらない ☐4. 当てはまらない



【中学校】(27) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

☐1. 当てはまる ☐2. どちらかといえば、当てはまる ☐3. どちらかといえば、当てはまらない ☐4. 当てはまらない



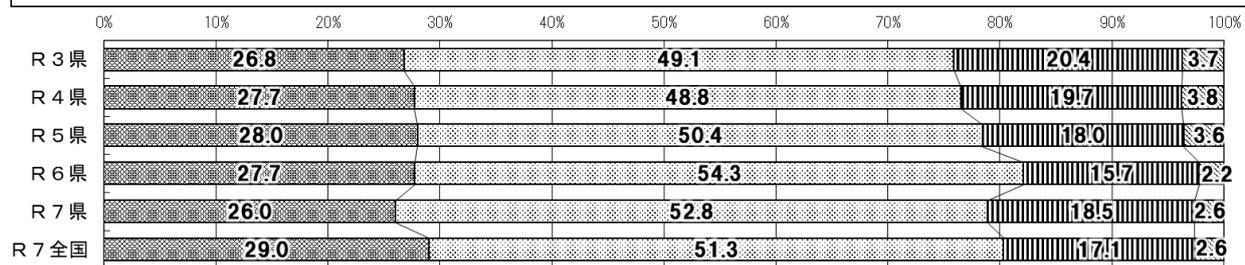
### ④ 学びに向かう姿勢・授業

#### ア 課題の解決に向けた主体的な取組

- 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均を下回り、中学校では減少傾向にある。

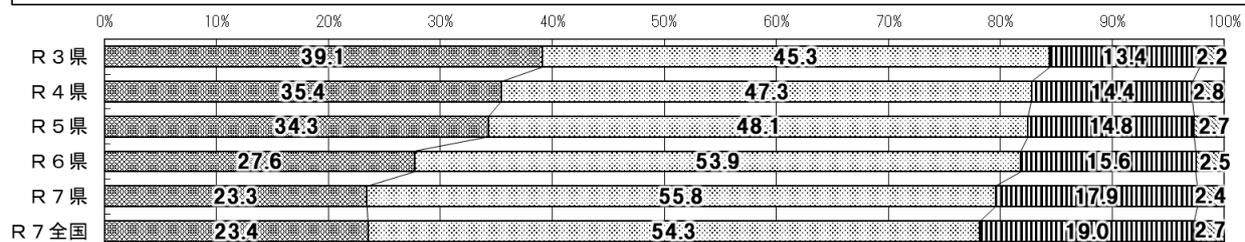
【小学校】(32) 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

☐1. 当てはまる ☐2. どちらかといえば、当てはまる ☐3. どちらかといえば、当てはまらない ☐4. 当てはまらない



【中学校】(32) 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

☐1. 当てはまる ☐2. どちらかといえば、当てはまる ☐3. どちらかといえば、当てはまらない ☐4. 当てはまらない

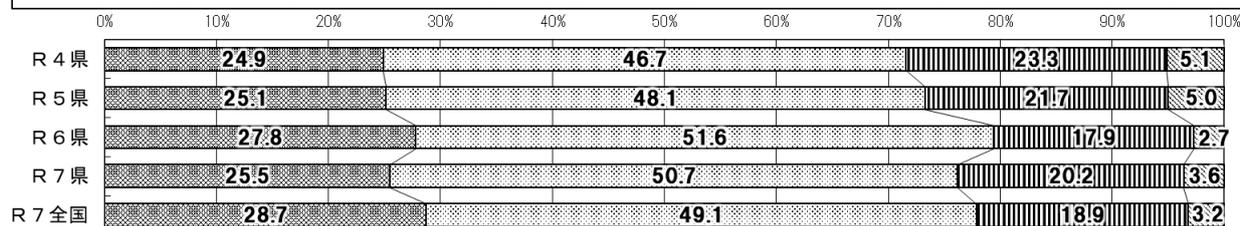


## イ 各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動

- 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均を下回り、昨年度に比べて減少している。

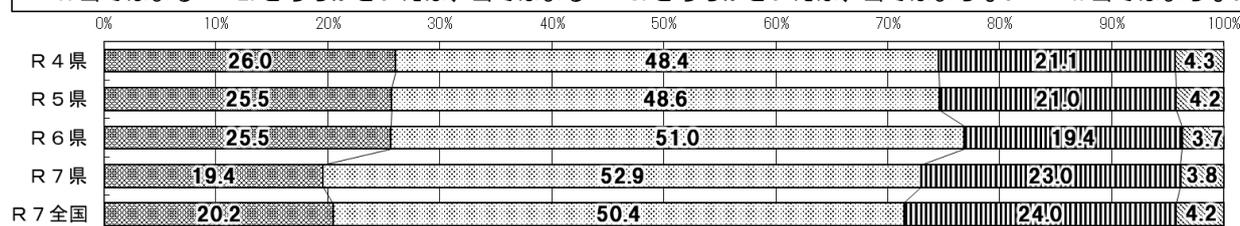
【小学校】(33) 5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない



【中学校】(33) 1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない

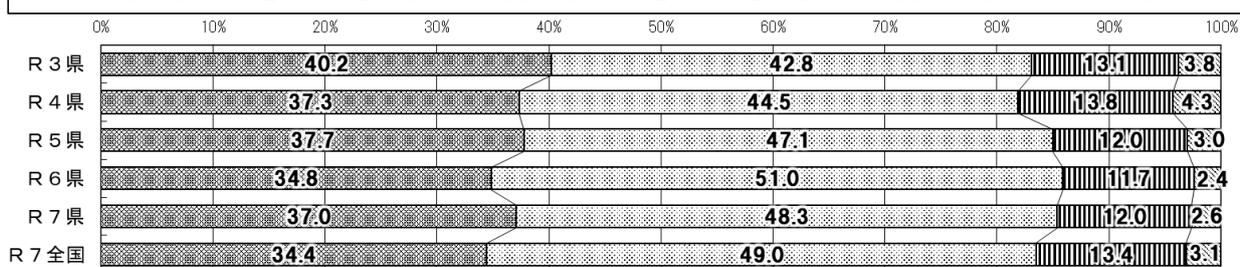


## ウ 学習者にあった教え方、教材、学習時間

- 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校共に全国平均を上回っている。
- 当てはまると回答した児童生徒の割合は、中学校で昨年度に比べて減少している。

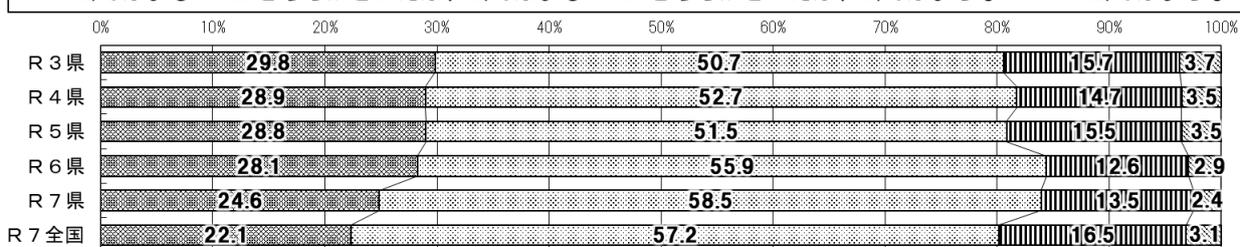
【小学校】(34) 5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか

■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない



【中学校】(34) 1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか

■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない

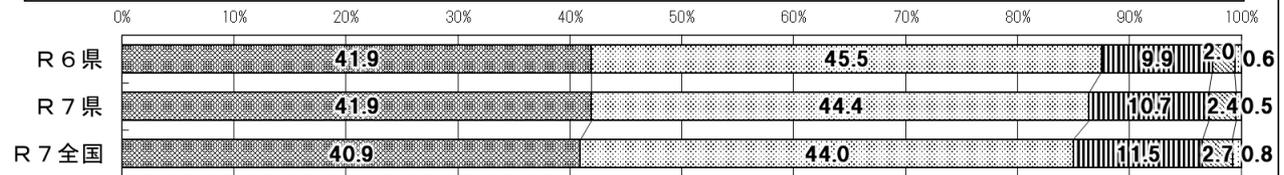


## エ 話合いで自分の考えを深めたり広げたりする

- 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均を上回っている。
- 当てはまると回答した生徒の割合は、昨年度と比べて減少している。

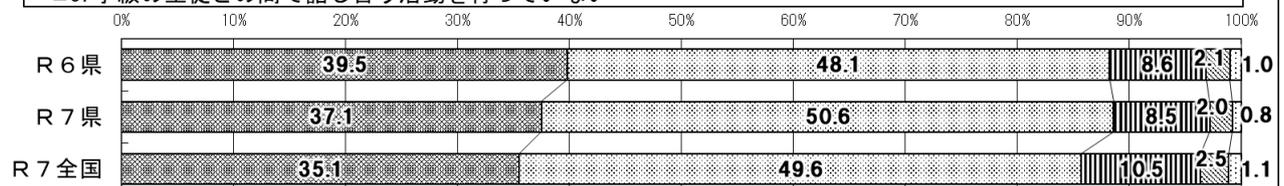
【小学校】(35) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができますか

- ▣1. 当てはまる
- ▣2. どちらかといえば、当てはまる
- ▣3. どちらかといえば、当てはまらない
- ▣4. 当てはまらない
- ▣5. 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない



【中学校】(35) 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができますか

- ▣1. 当てはまる
- ▣2. どちらかといえば、当てはまる
- ▣3. どちらかといえば、当てはまらない
- ▣4. 当てはまらない
- ▣5. 学級の生徒との間で話し合う活動を行っていない

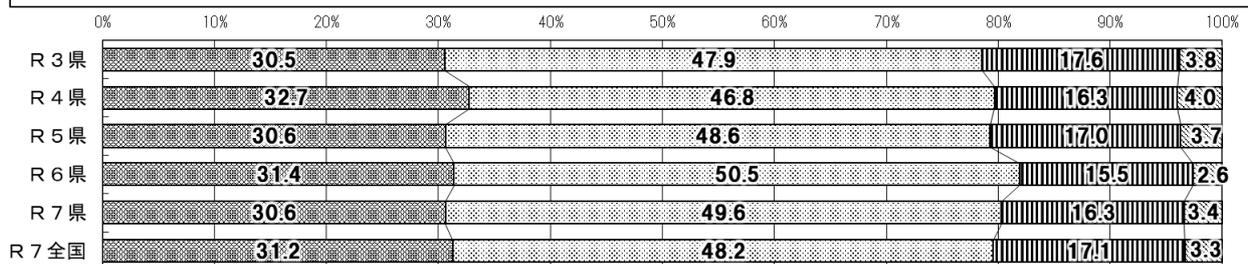


## オ 学習内容を振り返り、次の学習につなげること

- 当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均を上回っている。
- 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに昨年度と比べて減少している。

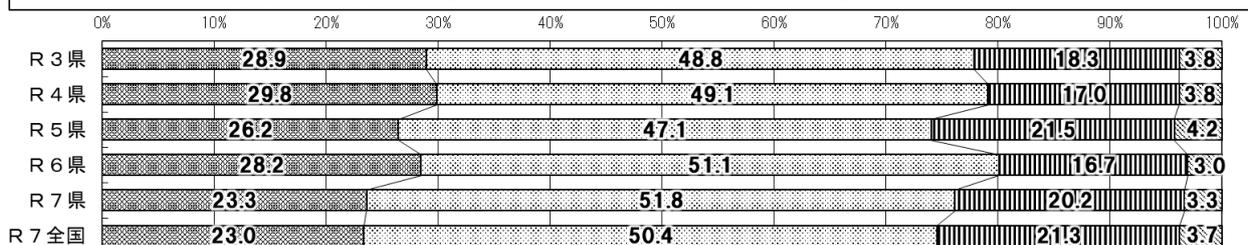
【小学校】(36) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか

- ▣1. 当てはまる
- ▣2. どちらかといえば、当てはまる
- ▣3. どちらかといえば、当てはまらない
- ▣4. 当てはまらない



【中学校】(36) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか

- ▣1. 当てはまる
- ▣2. どちらかといえば、当てはまる
- ▣3. どちらかといえば、当てはまらない
- ▣4. 当てはまらない

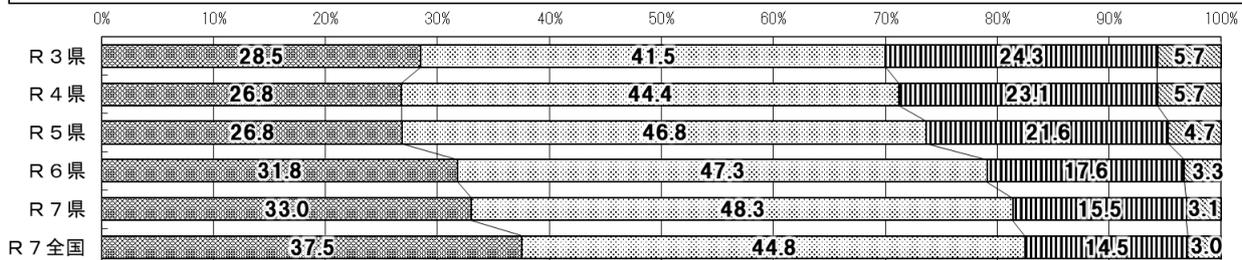


## カ 総合的な学習の時間での情報収集や発表等の学習活動

- 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小学校では昨年度に比べて増加している。
- 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均を下回り、中学校では昨年度に比べて減少している。

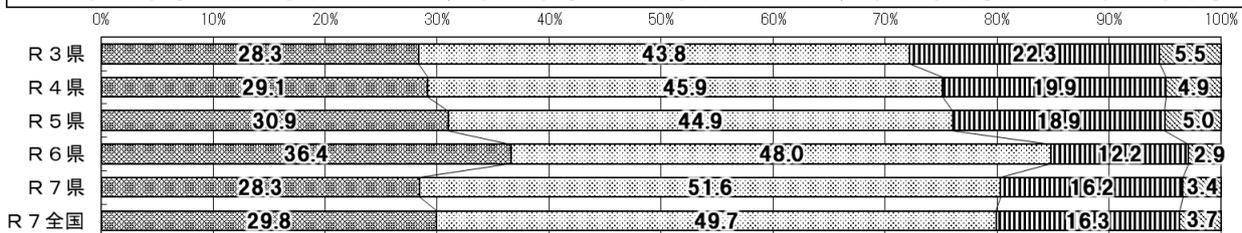
【小学校】（40）総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

- 1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない



【中学校】（40）総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

- 1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない

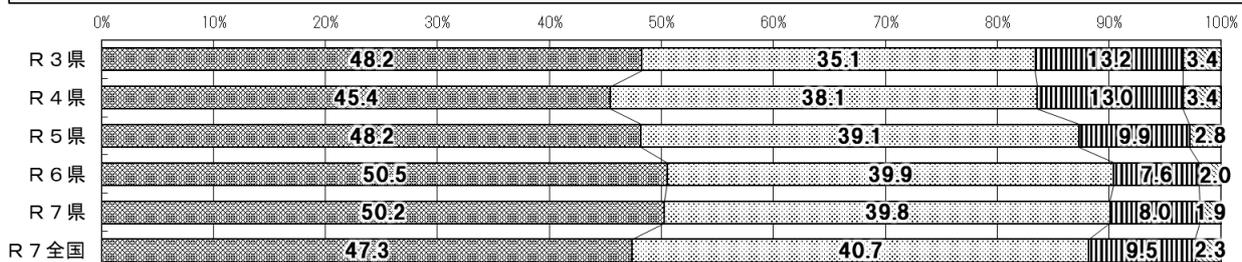


## キ 道徳の時間で考えを深める、グループで話し合う

- 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均を上回っている。
- 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに昨年度に比べて減少している。

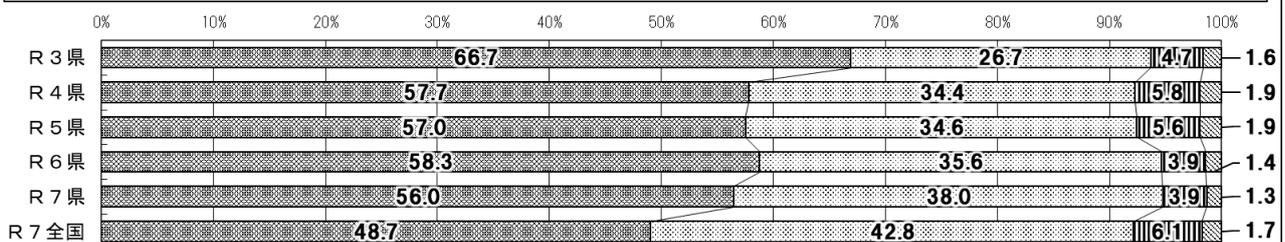
【小学校】（43）道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか

- 1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない



【中学校】（43）道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか

- 1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない



(2) 学校質問

① 生徒指導

ア 児童生徒の勉強への熱意

○…全国や経年の比較から見える成果

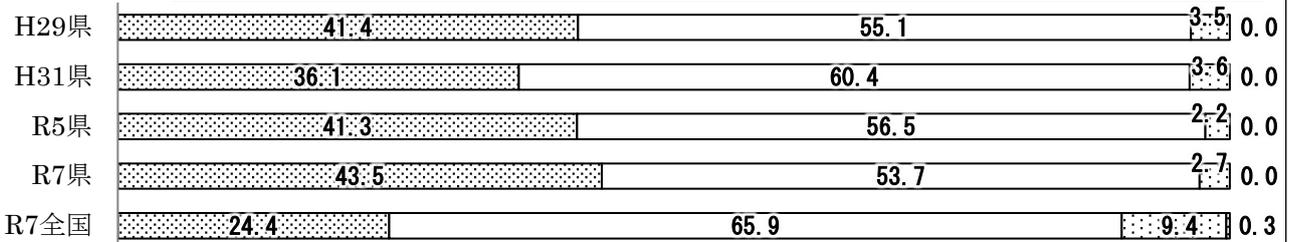
●…全国や経年の比較から見える課題

7 児童生徒は、熱意をもって勉強している

○ そう思うと答えた小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。

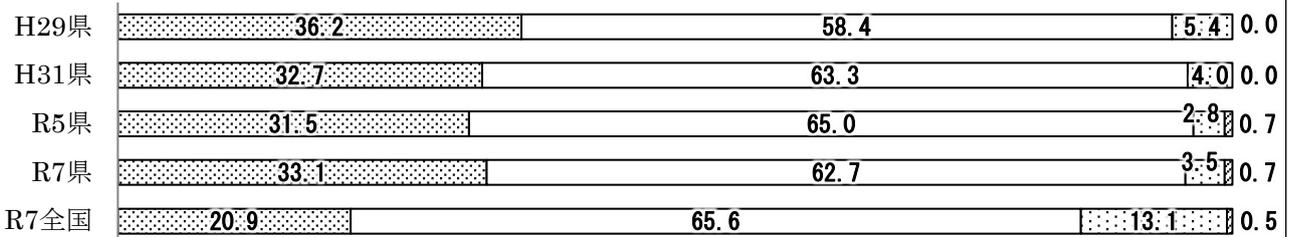
【小学校】

□ そう思う □ どちらかといえばそう思う □ どちらかといえばそう思わない □ そう思わない



【中学校】

□ そう思う □ どちらかといえばそう思う □ どちらかといえばそう思わない □ そう思わない



イ 将来就きたい仕事や夢についての指導

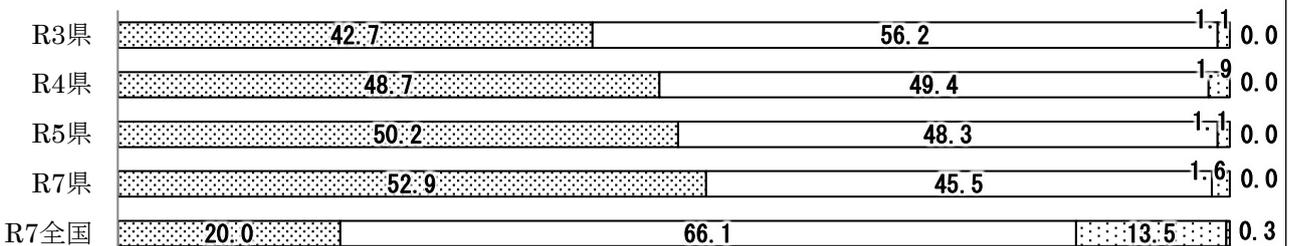
9 児童生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした

○ よく行ったと答えた小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。

○ よく行ったと答えた小学校の割合は、増加傾向にある。

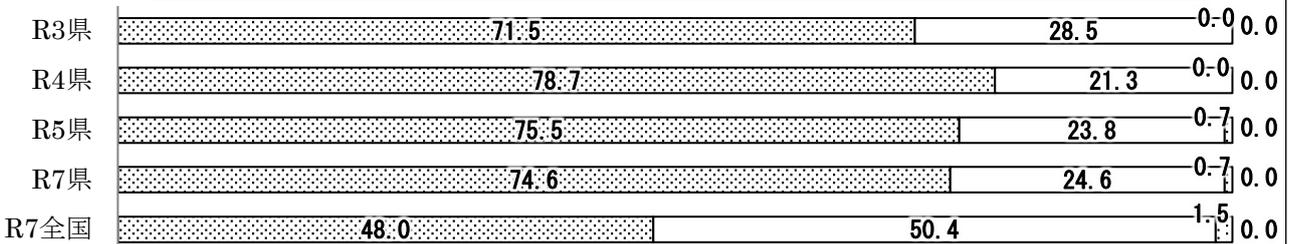
【小学校】

□ よく行った □ どちらかといえば行った □ あまり行っていない □ 全く行っていない



【中学校】

□ よく行った □ どちらかといえば行った □ あまり行っていない □ 全く行っていない

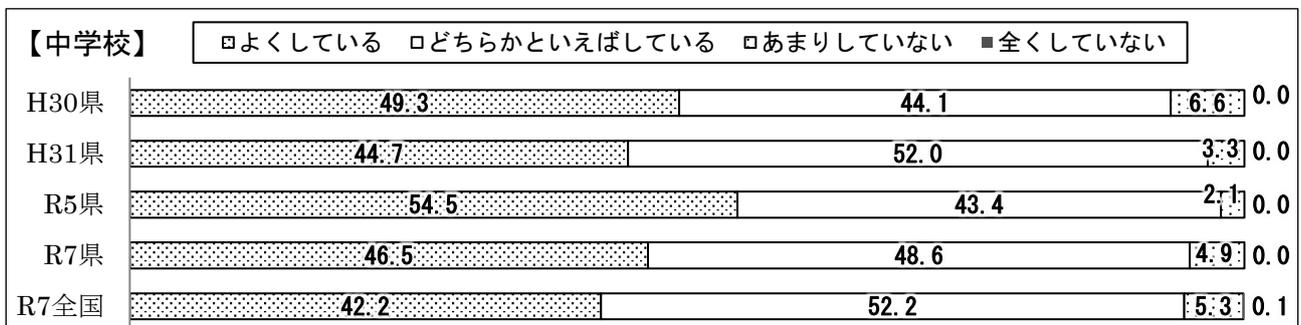


② 学校運営

ア 各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように、教育課程表を作成

14 教育課程表について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成している

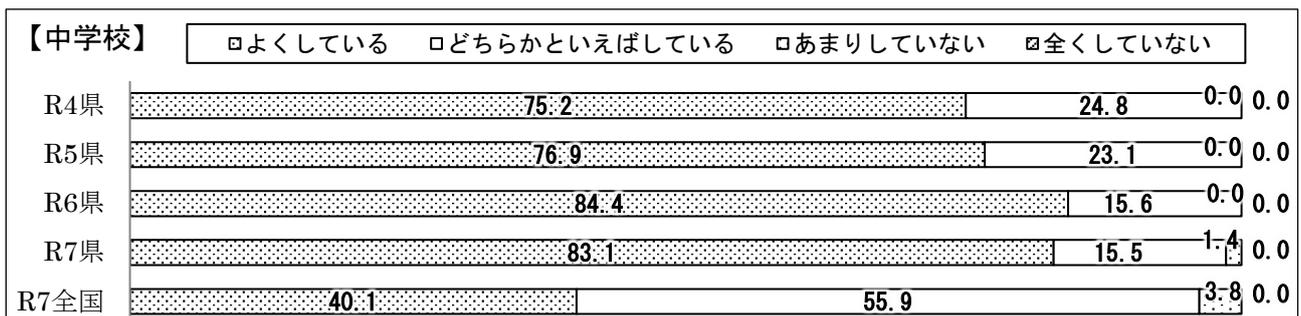
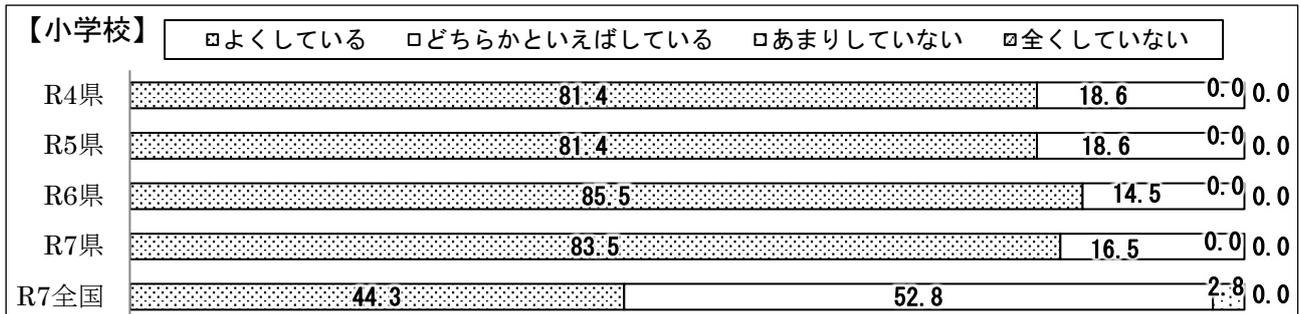
- よくしていると答えた小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。
- よくしていると答えた小学校の割合は、増加傾向にある。



イ 子どもの姿や地域に関するデータ等に基づいたPDCAサイクルの確立

15 児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している

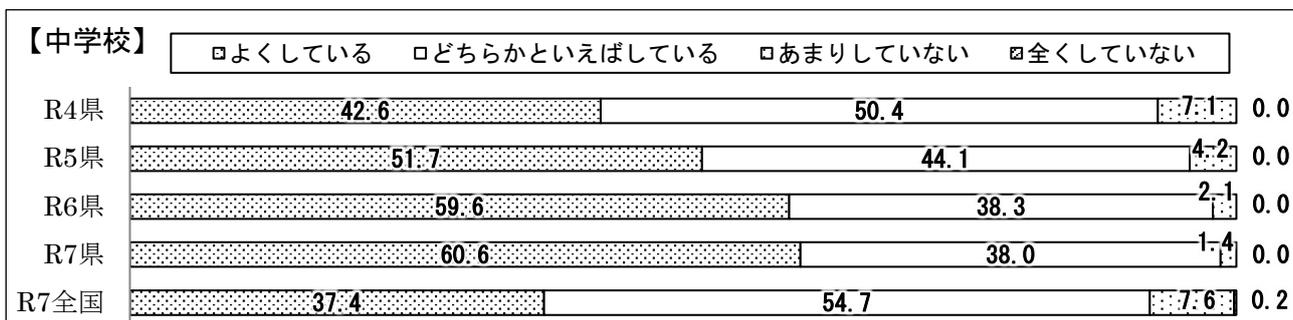
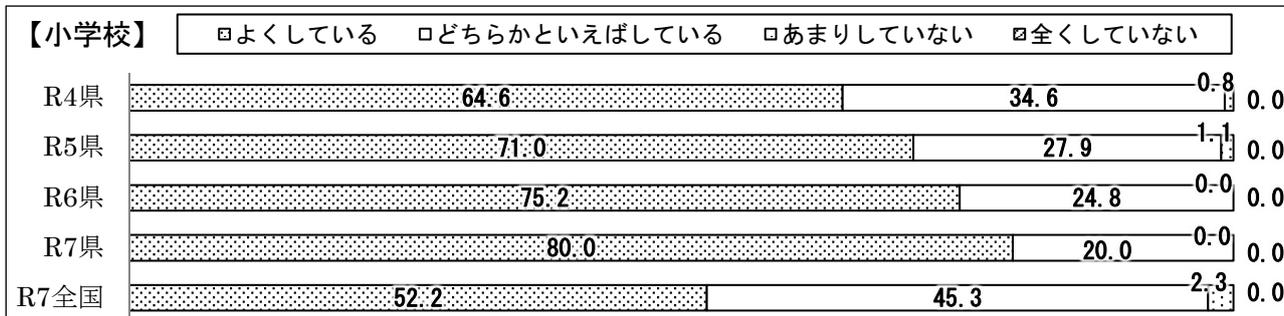
- よくしていると答えた小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。



ウ 教育活動に必要な人的・物的資源等の活用

16 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている

○ よくしていると答えた小・中学校の割合は、全国平均を上回っており、増加傾向にある。



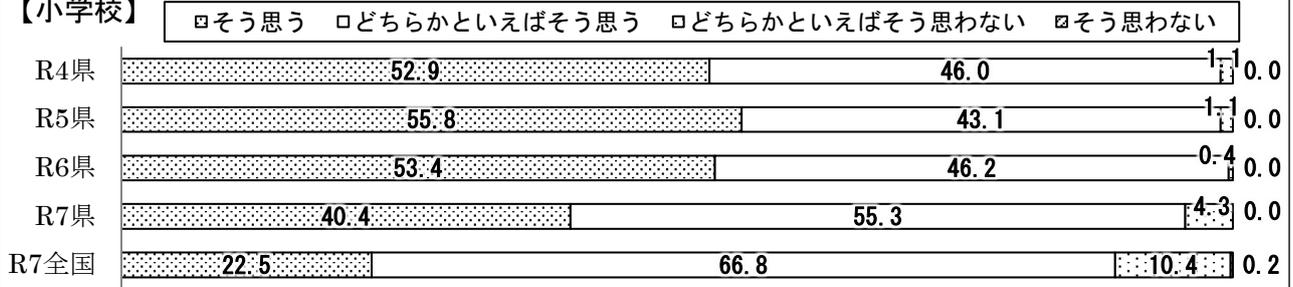
### ③ 学習指導

#### ア 自分で考え、自分から取り組む姿勢（授業での課題解決）

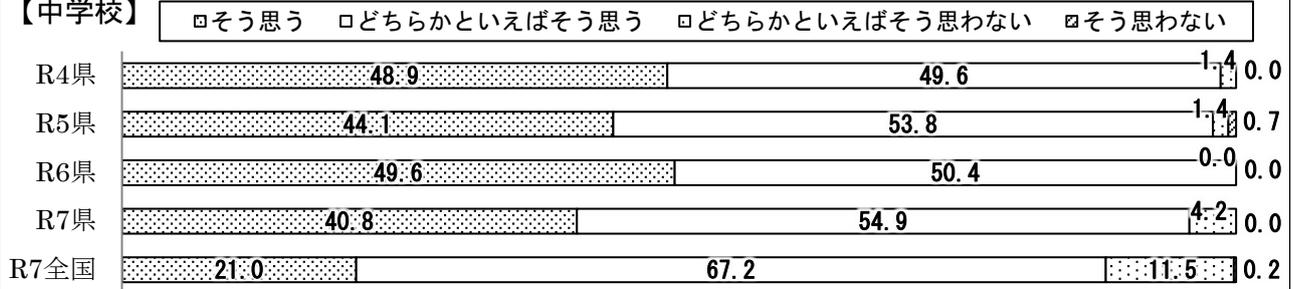
25 児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている

- そう思うと答えた小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。
- そう思うと答えた小・中学校の割合は、前年度を下回っている。

#### 【小学校】



#### 【中学校】

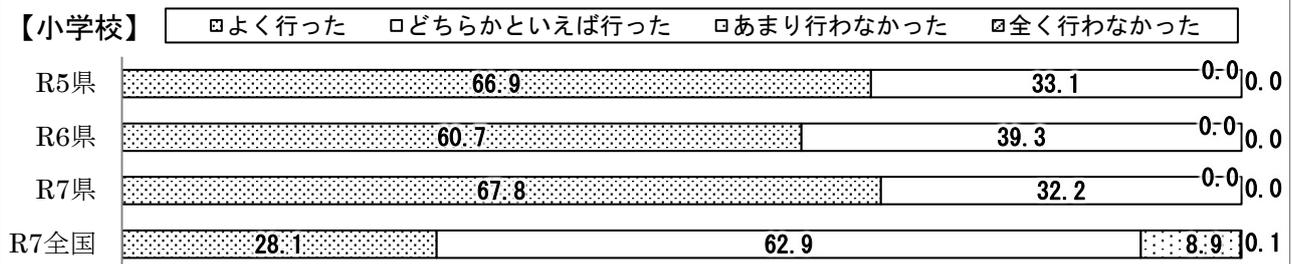


#### イ 学習指導における個に応じた学習課題の工夫

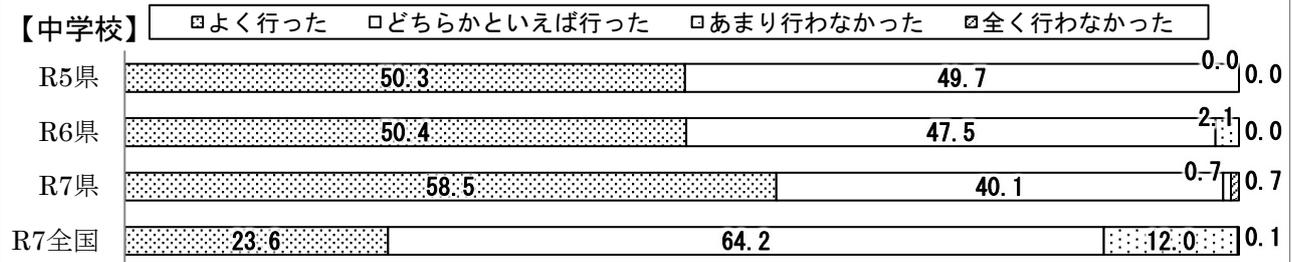
30 学習指導において、児童生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫している

- よく行ったと答えた小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。

#### 【小学校】



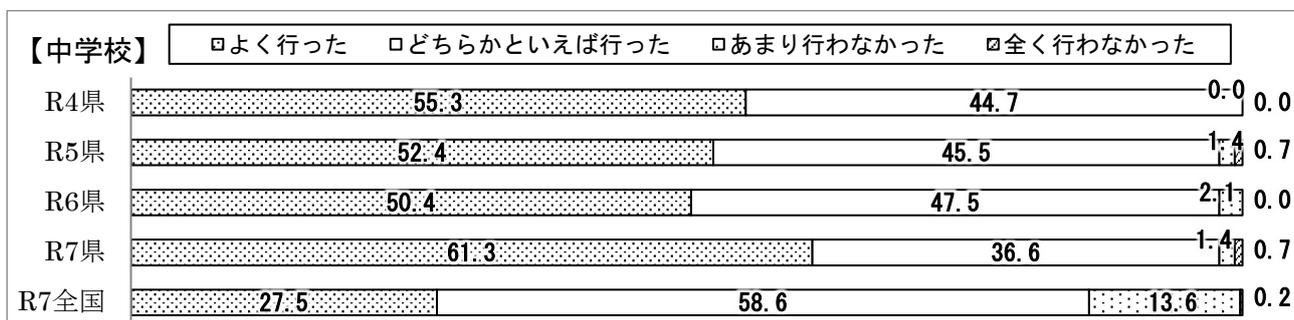
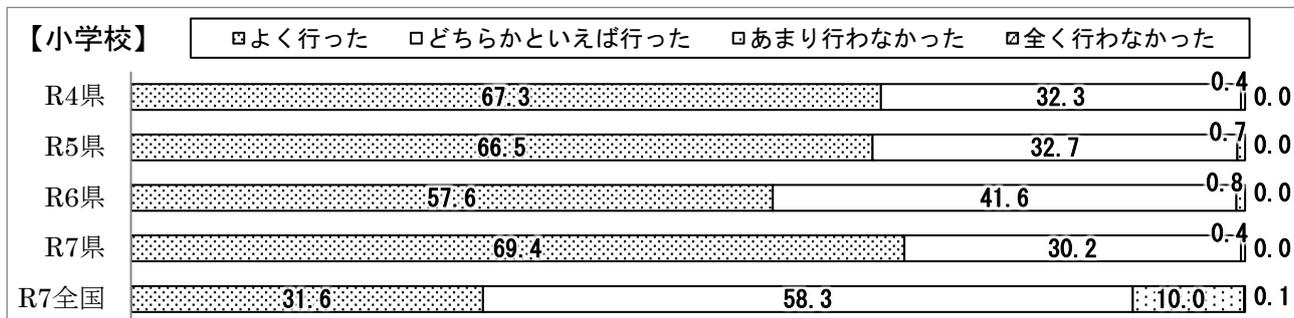
#### 【中学校】



ウ 課題を設定し、話し合い、まとめ、表現する学習活動

3 2 授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れている

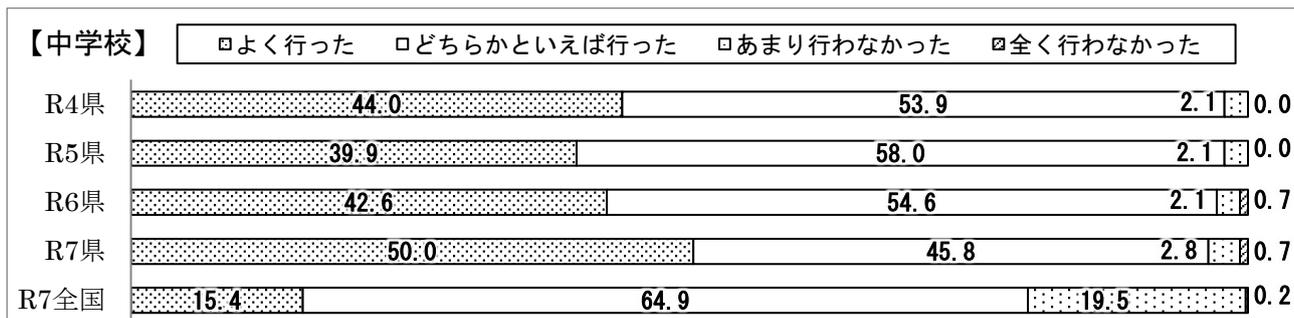
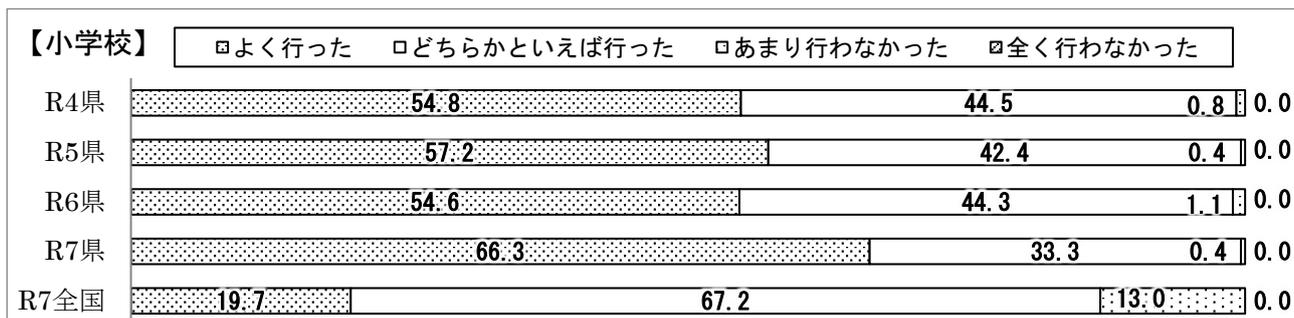
○ よく行ったと答えた小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。



エ 各教科等で身に付けたことを課題解決に生かす機会の設定

3 4 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けている

○ よく行ったと答えた小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。



## オ 総合的な学習の時間における指導

36 総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしている

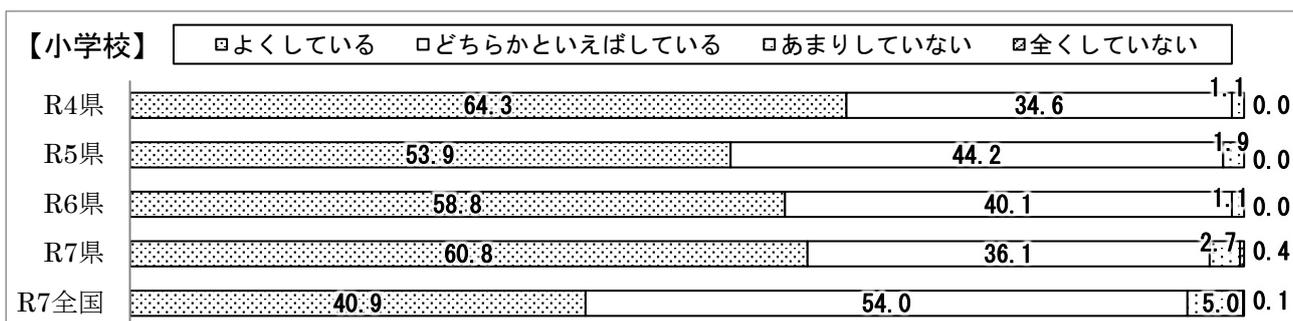
○ よくしていると答えた小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。



## カ よりよい学級生活のために話し合い、合意形成する指導

37 学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っている

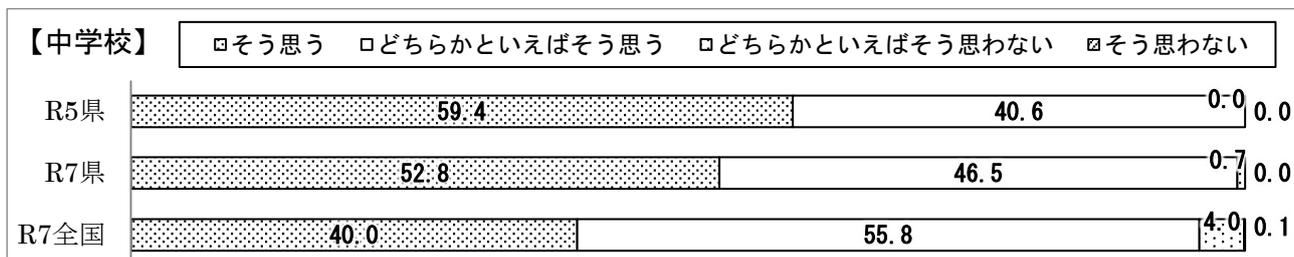
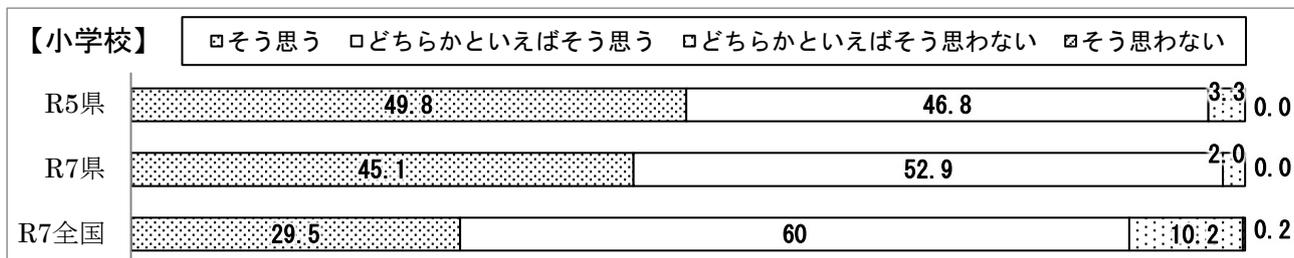
○ よくしていると答えた小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。



キ 学習評価を生かした指導改善や学習改善

40 学習評価の方針を児童生徒に示した上で、児童生徒の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童生徒の学習改善に生かすことを心がけている

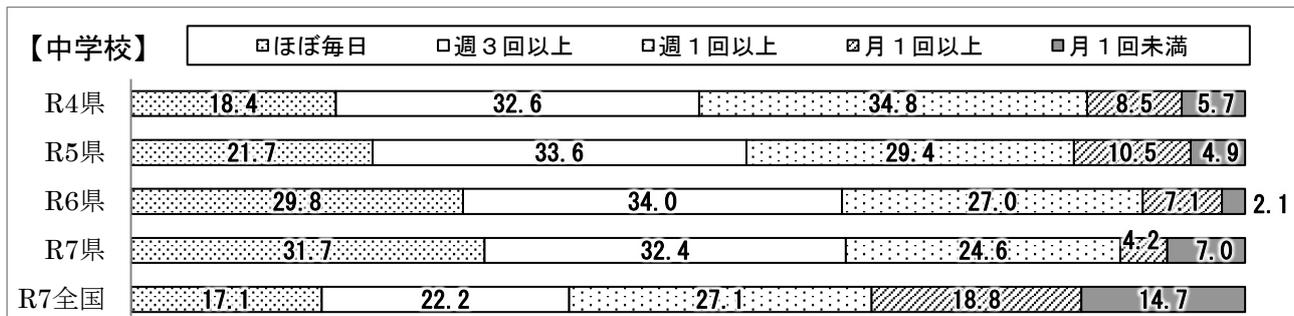
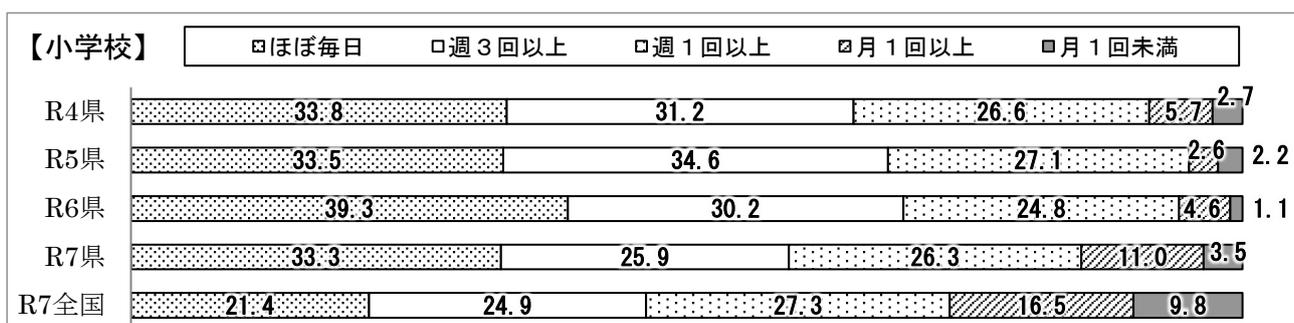
- そう思うと答えた小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。
- そう思うと答えた小・中学校の割合は、前年度よりも減少している。



ク ICT機器を活用した児童生徒同士のやりとり

62 児童生徒同士がやりとりする場面で児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させているか

- ほぼ毎日使用させていると回答した小中学校の割合は、全国平均を上回っている。
- ほぼ毎日使用させていると回答した中学校の割合は、増加傾向にある。



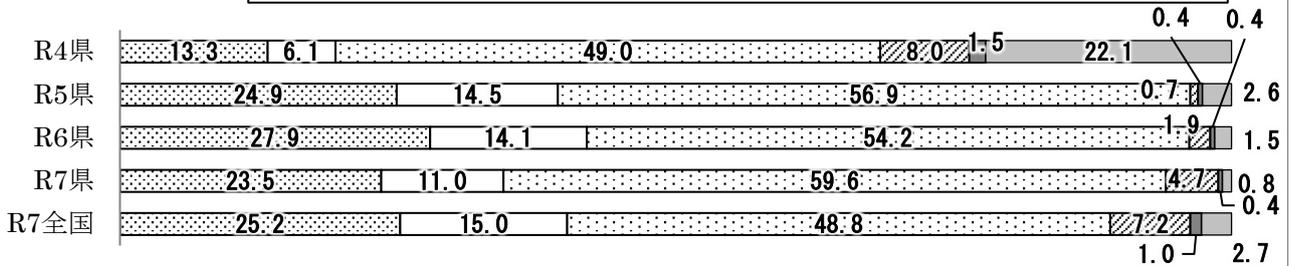
ケ 一人一台端末の家庭での利用

6 6 児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしているか

- 毎日持ち帰ると回答した中学校の割合は、全国平均を上回っている。
- 毎日持ち帰ると回答した小学校の割合は、全国平均を下回り、昨年度に比べて減少している。

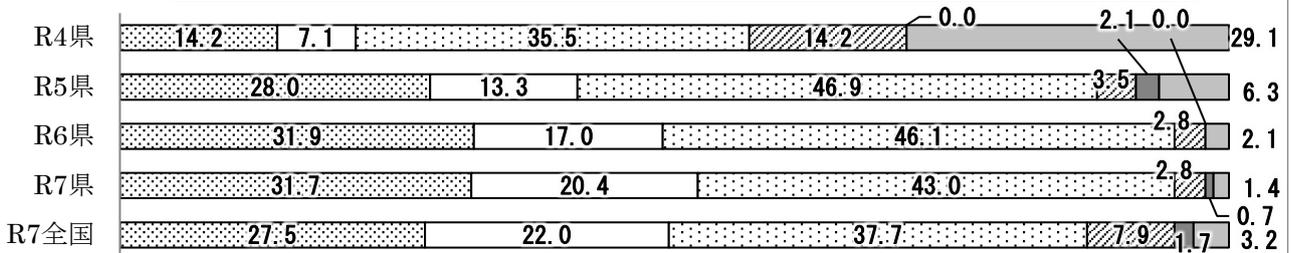
【小学校】

- 毎日持ち帰り毎日利用
- 毎日持ち帰り時々利用
- 時々持ち帰り時々利用
- 持ち帰らせていない
- 持ち帰ってはいけない
- 非常時のみ



【中学校】

- 毎日持ち帰り毎日利用
- 毎日持ち帰り時々利用
- 時々持ち帰り時々利用
- 持ち帰らせていない
- 持ち帰ってはいけない
- 非常時のみ



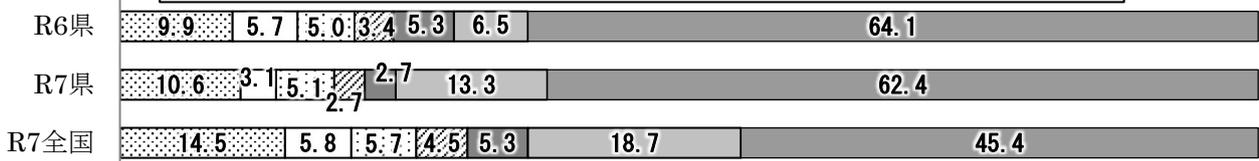
コ 不登校児童生徒に対する授業配信の取組

6 7-2 児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、希望する不登校児童生徒に対する授業配信をどの程度行ったか

- ほぼ毎日行ったと回答した小学校の割合は、前年度に比べて増加している。
- 不登校児童生徒に対する授業配信を行ったと回答した小・中学校の割合は、全国平均を下回り、昨年度に比べて減少している。

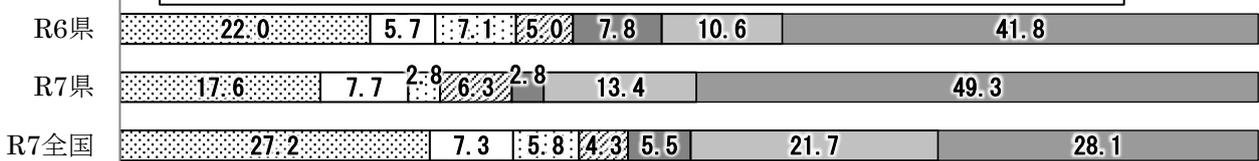
【小学校】

- ほぼ毎日
- 週3回以上
- 週1回以上
- 月1回以上
- 月1回未満
- 活用していない
- 該当する児童がいない



【中学校】

- ほぼ毎日
- 週3回以上
- 週1回以上
- 月1回以上
- 月1回未満
- 活用していない
- 該当する生徒がいない



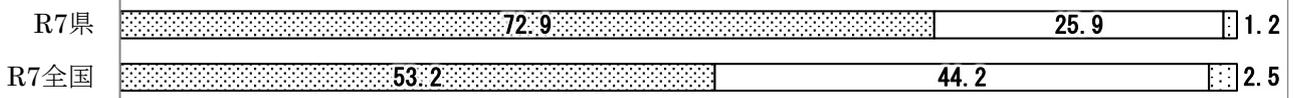
サ 特別支援教育を念頭に置いた指導上の工夫

69 授業の中で、障害のある児童生徒を念頭に置いた指導上の工夫を行ったか

○ 十分に行ったと答えた小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。

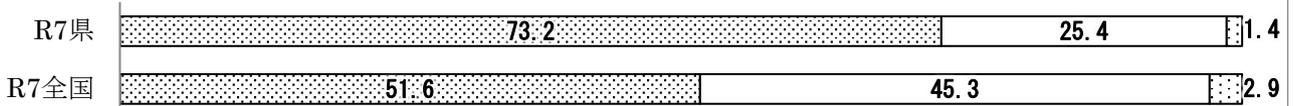
【小学校】

十分に行った 一部行った 全く行わなかった



【中学校】

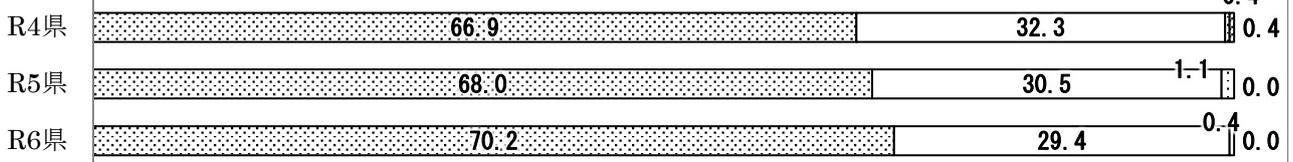
十分に行った 一部行った 全く行わなかった



(参考) 教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、授業の中で児童の特性に応じた指導上の工夫を行った

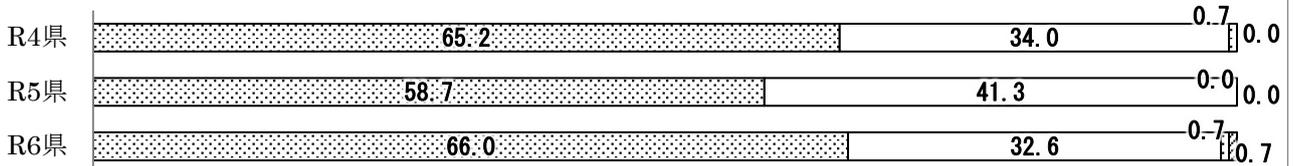
【小学校】

よく行った どちらかといえば行った あまり行わなかった 全く行わなかった



【中学校】

よく行った どちらかといえば行った あまり行わなかった 全く行わなかった

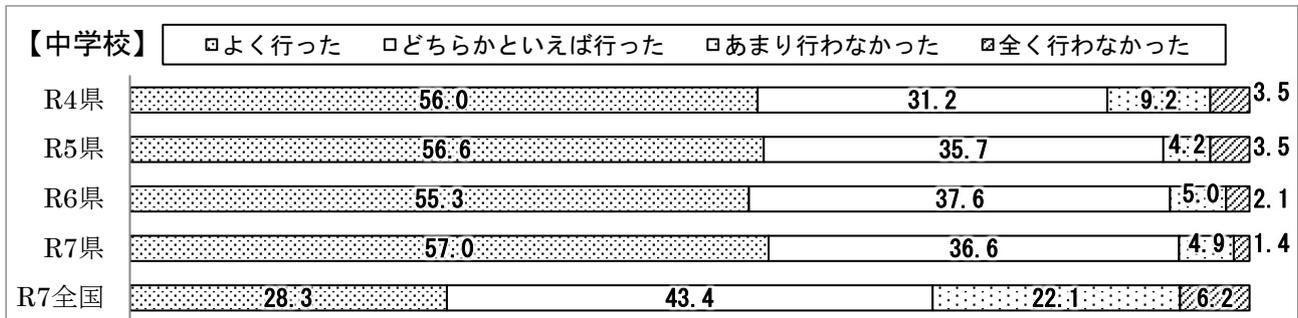
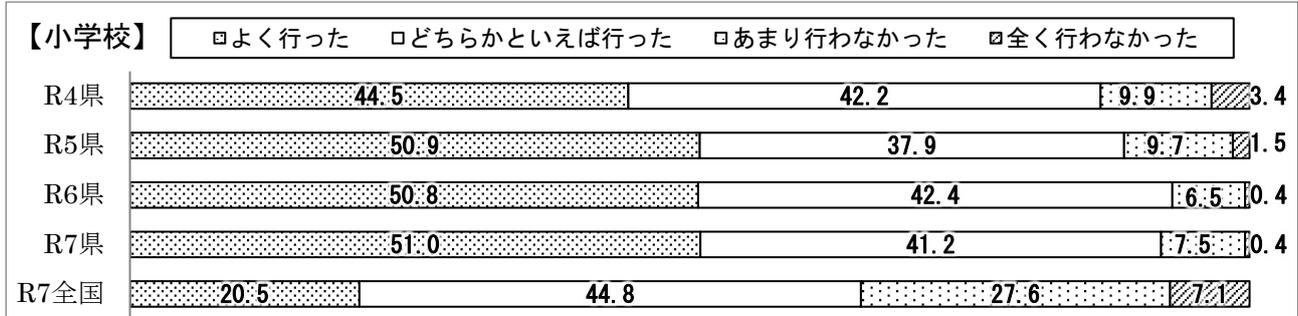


④ 学校・家庭・地域との連携

ア 教育課程に関する小・中学校共通の取組

7 2 近隣等の小・中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行ったか

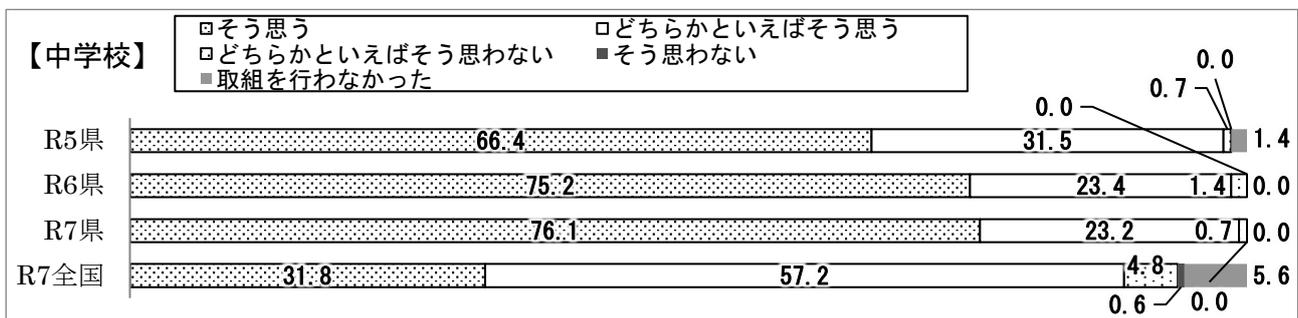
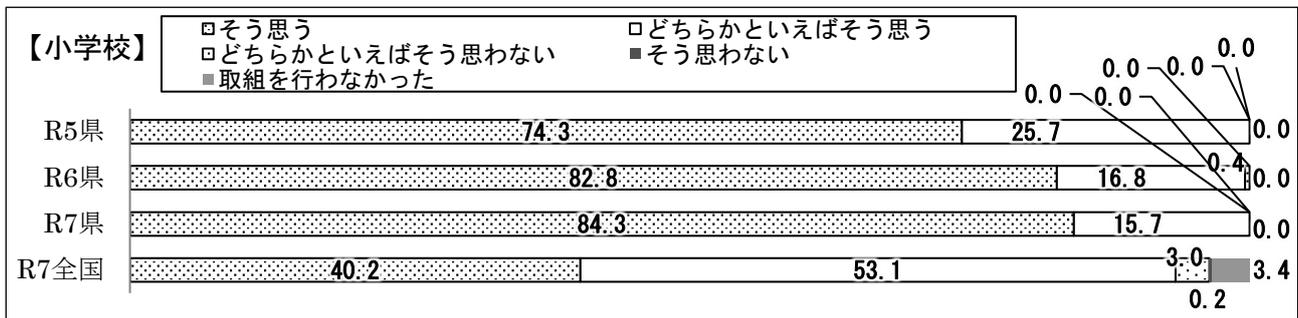
○ よく行ったと答えた小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。



イ 学校・地域・保護者の相互理解

7 7 コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まった

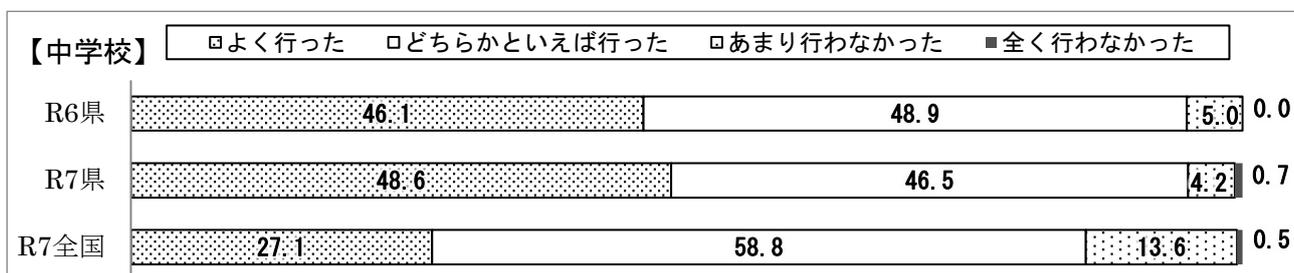
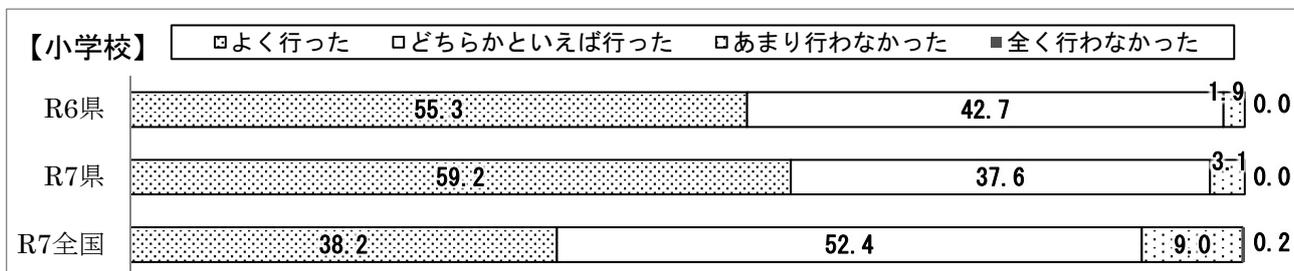
○ そう思うと答えた小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。  
 ○ そう思うと答えた小・中学校の割合は、増加傾向にある。



ウ 家庭学習における児童生徒による学習内容や学び方の決定などの工夫

8 1 家庭学習について、児童生徒が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行っている

- よく行ったと答えた小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。
- よく行ったと答えた小・中学校の割合は、前年度と比べて増加している。

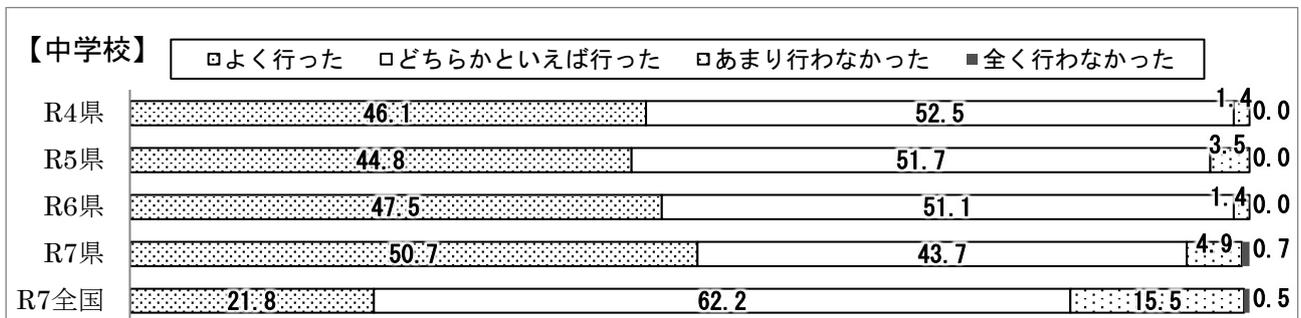
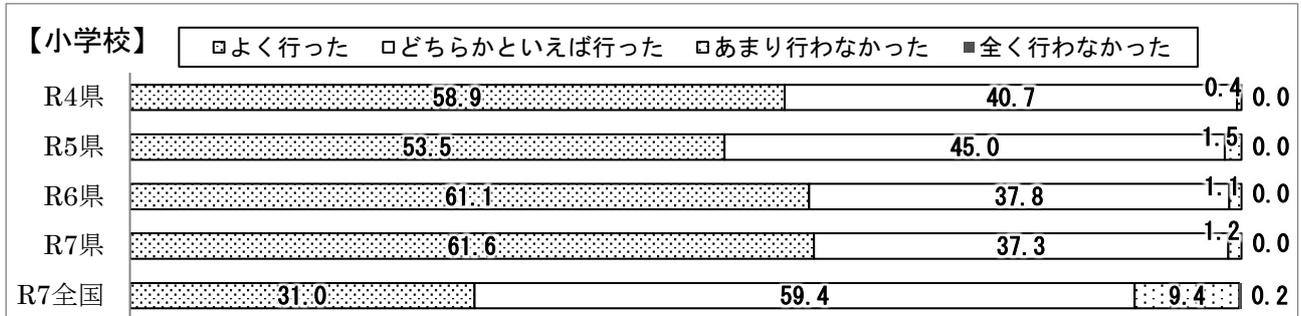


⑤ 家庭学習・調査結果の活用

ア 児童生徒が行った家庭学習の課題について、指導改善や学習改善に生かす取組

8 2 学校では、児童生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童生徒の学習改善に生かしている

○ よく行ったと答えた小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。

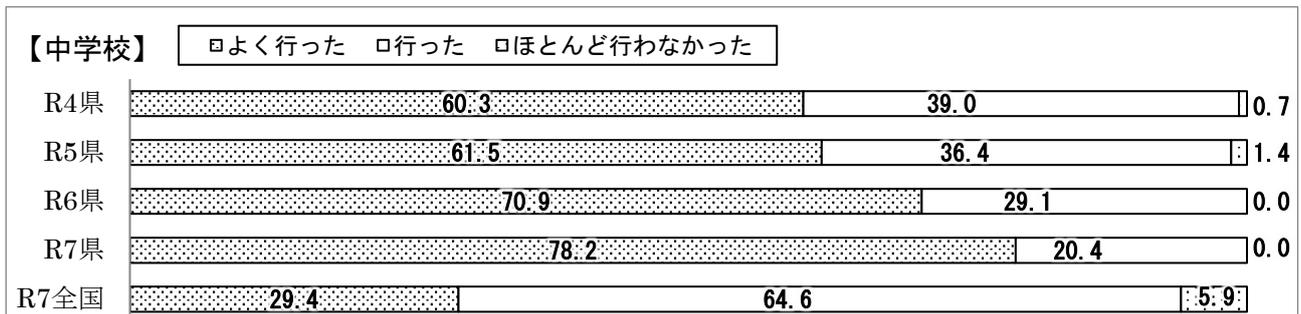
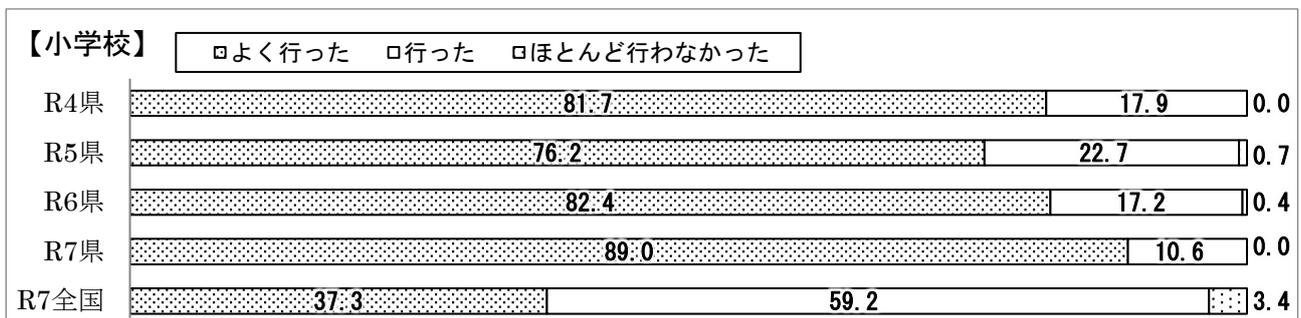


イ 全国学力・学習状況調査の問題の活用

8 3 全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用している

○ よく行ったと答えた小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。

○ よく行ったと答えた小・中学校の割合は、増加傾向にある。



#### 4 学力向上に向けた今後の取組

県教委、各市町教委、各学校が連携して、次のことに取り組む。

- 「やまぐち型地域連携教育」による家庭や地域との連携・協働を基盤とし、「学校の組織力の充実」「教員の授業力の向上」「学校・家庭・地域の連携力の強化」の3つの視点から取組を推進するとともに、検証改善委員会からの客観的評価を生かし、学校・家庭・地域が一体となって、検証改善サイクルを徹底する。
- 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動のさらなる充実を図り、誰一人取り残すことのない学びを保障するとともに、家庭と学校の学びの好循環を創出し、児童生徒一人ひとりの確かな学力の定着と向上を図る。

##### ① 学校の組織力の充実

- ◆「やまぐち学習支援プログラム」等の活用を軸にした組織的な指導体制づくり
  - ・「やまぐち学習支援プログラム」等を活用した「課題を課題のままにしない」きめ細かな学習指導の充実
  - ・全校体制による計画的・組織的な補充学習等の学び直しの実施
- ◆子どもたちの誤答に着目した課題把握と解決に向けた組織的・継続的な手立ての確立
  - ・誤答分析に基づいた課題の焦点化
  - ・子どものつまずきを解決するための個に応じた指導の充実

##### ② 教員の授業力の向上

- ◆「振り返り」に着目した「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざす授業改善
  - ・「引き出したい振り返り」を意識した授業づくり
  - ・「めあてに対して何ができるようになったか、分かるようになったか」「友達や先生、地域の人などとの関わりによって気付いたこと」「次は、どのようなめあてをもって学んでいきたいか」等の視点で、次の学びにつながる振り返りの充実
- ◆「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
  - ・基盤的なツール、教科等に関わる資質・能力を育成するツールとしてのICT利活用
  - ・中学校における生成AI・学習アシスタントアプリの活用

##### ③ 学校・家庭・地域の連携力の強化

- ◆熟議を通じた主体者意識の醸成
  - ・児童生徒参画型の「学力に関する熟議」の充実
- ◆学びに向かう力を育むためのキャリア教育の推進
  - ・身近な大人や先輩の生き方・考え方に触れる機会の充実

※今回の調査結果を踏まえ、特に重点的に取り組む内容を記載